

東近江市
子どもの生活等に関する調査
結果報告書

平成31年3月
東近江市

東近江市子どもの生活等に関する調査

【調査目的】

本調査は、安心して子どもを生み育てられるまちの実現をめざし、子育てしやすい環境づくりと子どもたち一人ひとりの状況に応じた支援が充実できるよう市民の子育てに関する実態や子どもたちの生活実態、意見などを把握し、今後の子ども子育て施策推進の基礎資料とするため実施しました。

【調査対象】

- ・ 市立小学校に通う小学5年生児童の保護者全員（1, 133人）
 - ・ 市立中学校に通う中学2年生生徒の保護者全員（1, 079人）
- 計 2, 212人

【調査期間と調査方法】

調査期間：平成30年12月10日～21日

調査方法：平成30年12月21日 各学校を通じて配布・回収

【回収状況】

区 分	調査票配布数	提出回答数	提出回答率
小学5年生	1, 133人	907人	80.0%
中学2年生	1, 079人	822人	76.1%
合 計	2, 212人	1, 729人	78.1%

【集計における注意事項】

- ・ グラフの場合は、小数点以下を端数処理して合計100%としているため、極めて少数値の場合は数値が存在しても0%表示の場合がある。
- ・ 回答者の誤りにより矛盾する回答（例えば家族数3人で、同居者が「父・母・兄弟・祖母」と回答の場合）は、その他の設問によって正しいと類推できる回答に分類して集計している。（例示の場合、世帯収入に「年金収入」が含まれるため、祖母も同居が正しいと類推し集計した。）
- ・ 上記のような個別の調査票の矛盾するような回答は、できる限りチェックを行い集計に反映させています。
- ・ 厳密な統計処理上のルールに基づく集計ではなく自前の集計であるが、傾向は読み取ることができると考える。

東近江市子どもの生活等に関する調査（ひとり親家庭抽出）

【抽出対象】

- ・ 市立小学校に通う小学5年生児童の保護者全員（1, 133人）
- ・ 市立中学校に通う中学2年生生徒の保護者全員（1, 079人）

計 2, 212人

児童・生徒の保護者の内、母又は父が同居家族にいない世帯（母又は父と子どものみの世帯だけでなく、祖父母やその他の親族が同居している世帯を含む。）

【抽出結果】

区 分	全体提出回答数	抽出数	構成比
小学5年生	907人	90人	9.9%
中学2年生	822人	102人	12.4%
合 計	1,729人	192人	11.1%

（内訳）

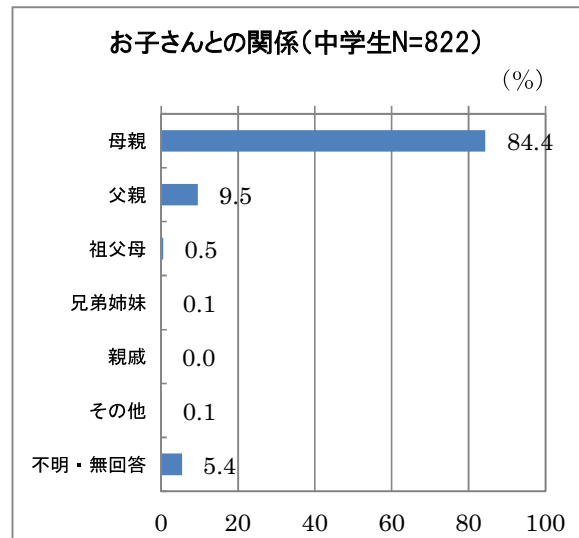
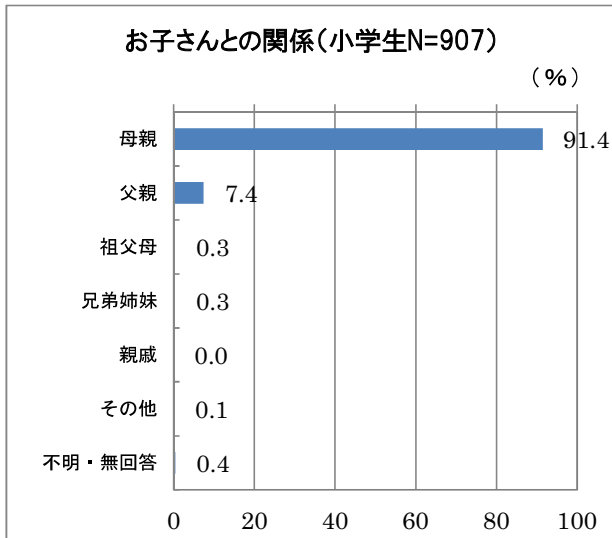
区 分	母と子	母子と 祖父母等	父と子	父子と 祖父母等	合計
小学5年生	60人	12人	15人	3人	90人
中学2年生	49人	20人	23人	10人	102人
合 計	109人	32人	38人	13人	192人

【集計における注意事項】

- ・ グラフの場合は、小数点以下を端数処理して合計100%としているため、極めて少数値の場合は数値が存在しても0%表示の場合がある。
- ・ 回答者の誤りにより矛盾する回答（例えば家族数3人で、同居者が「父・母・兄弟・祖母」などと回答の場合）は、その他の設問によって正しいと類推できる回答に分類して集計している。（例示の場合、世帯収入に「年金収入」が含まれるため、祖母も同居が正しいと類推し集計した。）
- ・ 上記のような個別の調査票の矛盾するような回答は、できる限りチェックを行い集計に反映させています。
- ・ 厳密な統計処理上のルールに基づく集計ではなく自前の集計であるが、傾向は読み取ることができると考える。

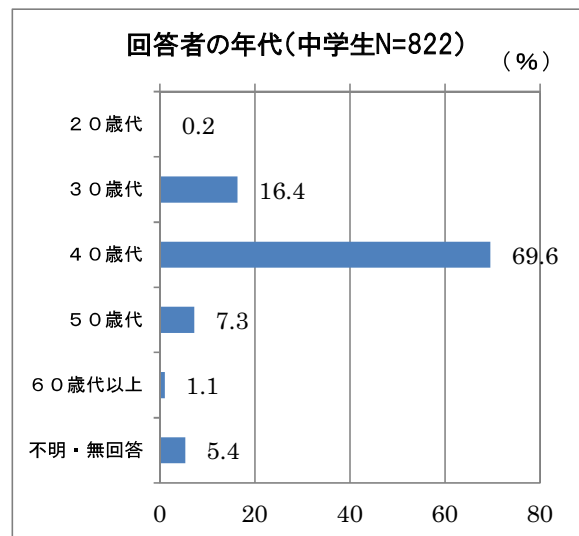
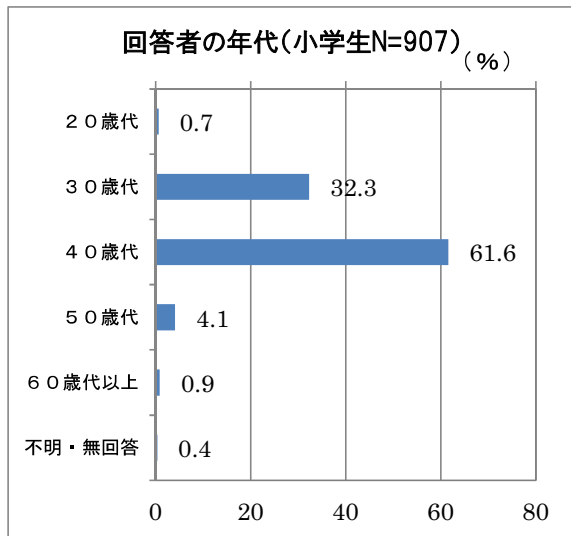
○お子さんとあなたの関係を教えてください。

回答者の続柄は、「母」が最も高く、小学生で 91.4%、中学生で 84.4%となっている。



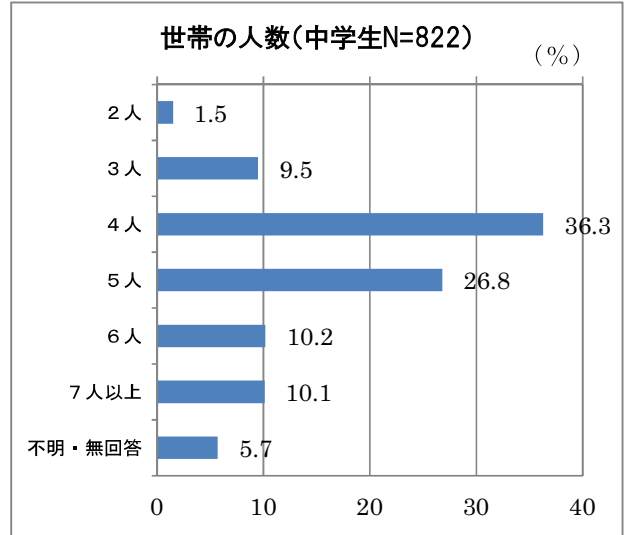
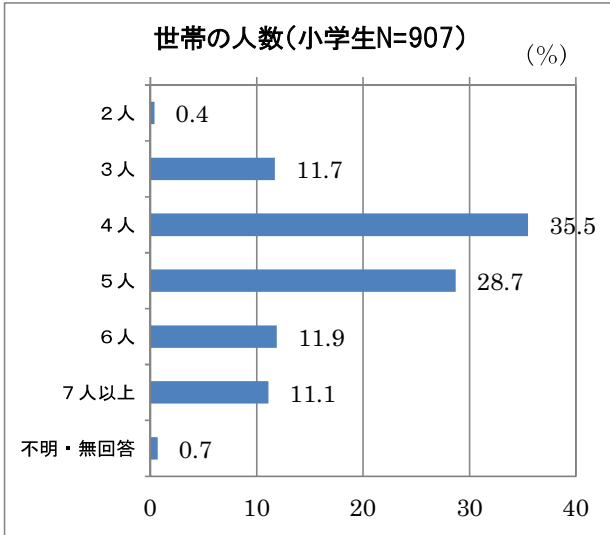
○現在のあなたの年齢をお答えください。

回答者の年代は、「40歳代」が最も高く、小学生で 61.6%、中学生で 69.6%、続いて「30歳代」となっており、小学生で 32.3%、中学生で 16.4%となっている。



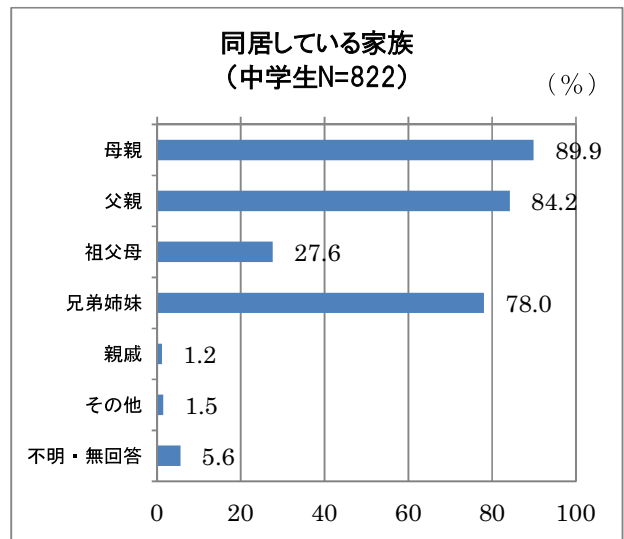
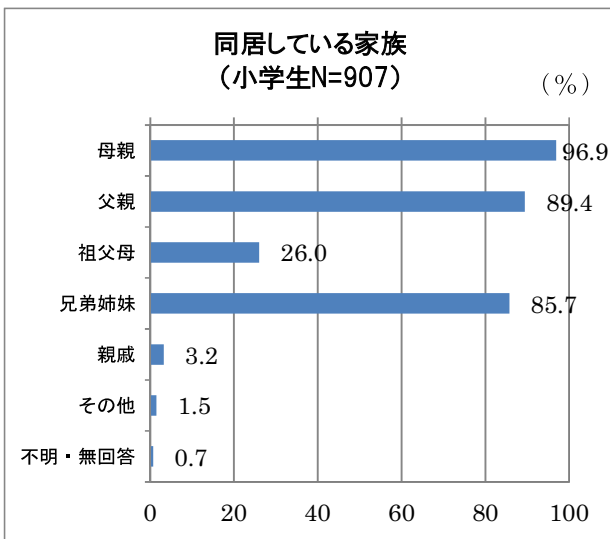
○あなたの世帯で生活を一緒にしている人はあなたを含めて何人ですか。

同居家族の人数は、「4人」が最も高く、小学生で35.5%、中学生で36.3%、続いて「5人」が高く、小学生で28.7%、中学生で26.8%となっている。「4人」～「5人」で構成する家庭が60%を超えている。



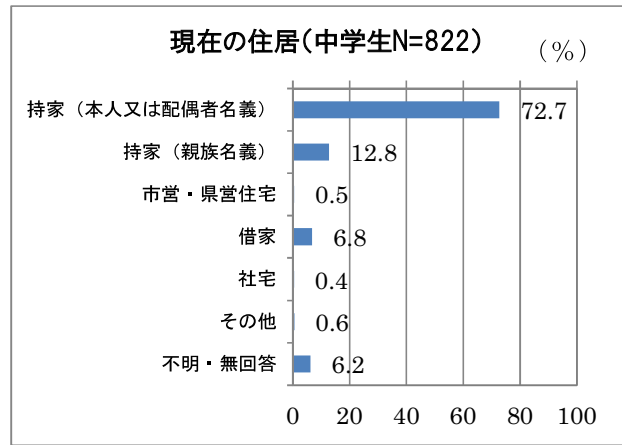
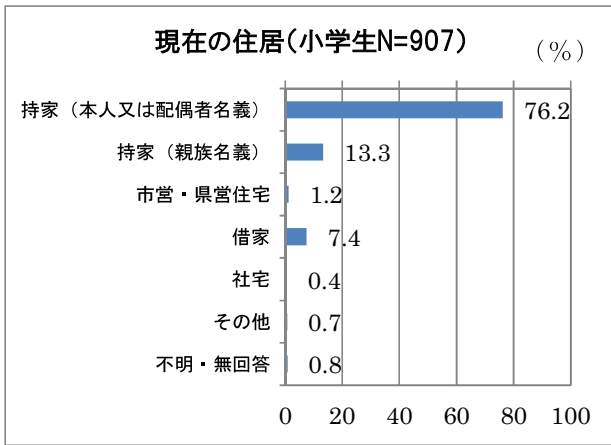
○一緒に生活をしている家族全員についてお答えください。

一緒に生活をしているのは、小学生では、「母親」が96.9%、「父親」が89.4%、「兄弟姉妹」が85.7%の順となっている。中学生では、「母親」が89.9%、「父親」が84.2%、「兄弟姉妹」が78%の順となっている。両親と兄弟姉妹の家族構成が多い。



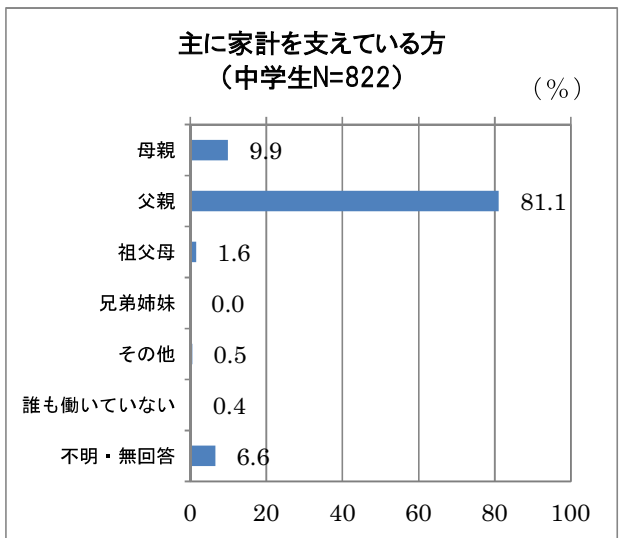
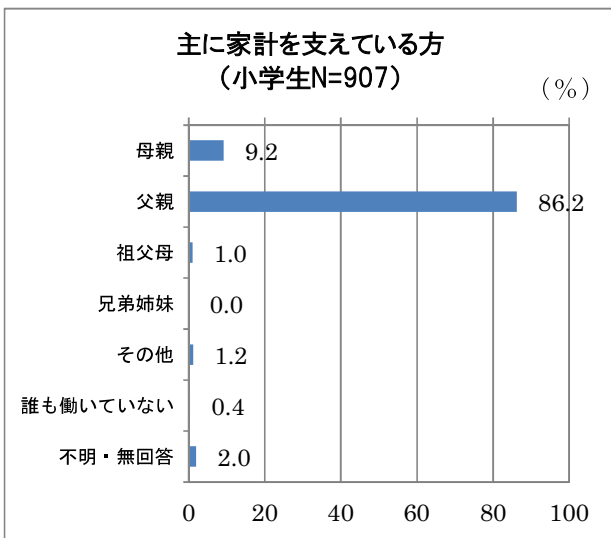
○現在の住居の状況についてお答えください。

住居の状況については、「持家（本人・配偶者）」が小学生で76.2%、中学生で72.7%と最も高く、続いて「持家（親族）」が高く、小学生で13.3%、中学生で12.8%となっている。



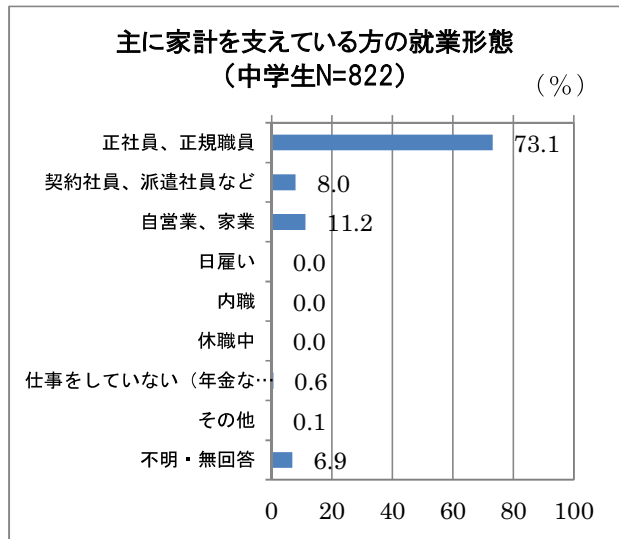
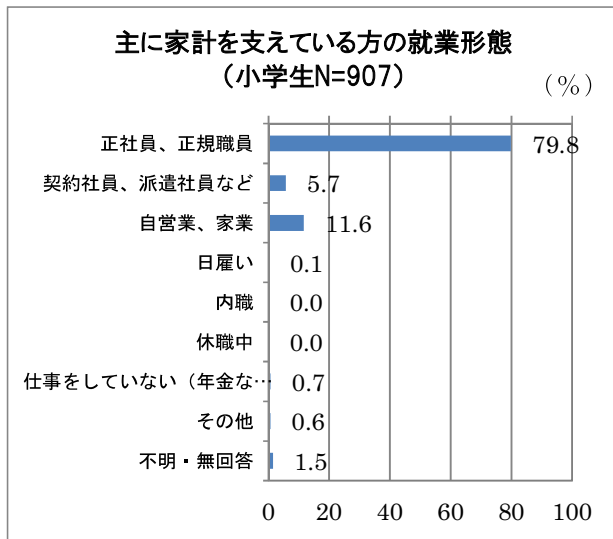
○主にどなたが家計を支えていますか。

主に家計を支えているのは、「父」が最も高く、小学生で86.2%、中学生で81.1%、続いて「母」が高く、小学生で9.2%、中学生で9.9%となっている。



○主に家計を支えている方の就業形態は何ですか。

主な生計者の就業形態については、「正職（正社員、正規職員）」が最も高く、小学生で79.8%、中学生で73.1%、次いで「自営業」が高く、小学生で11.6%、中学生で11.2%となっている。

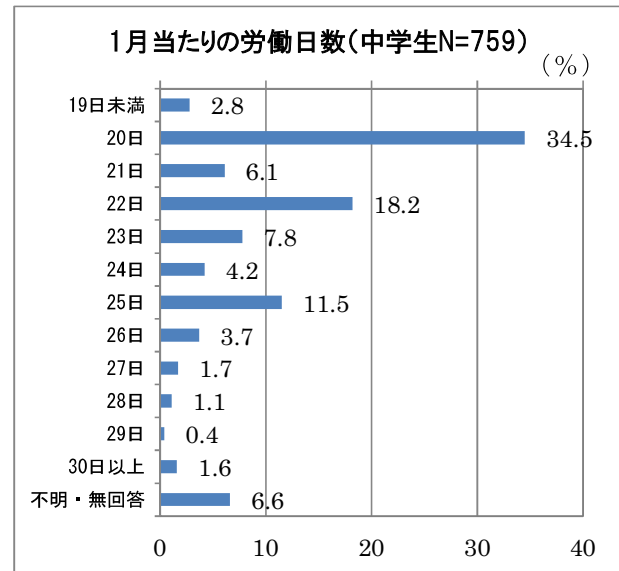
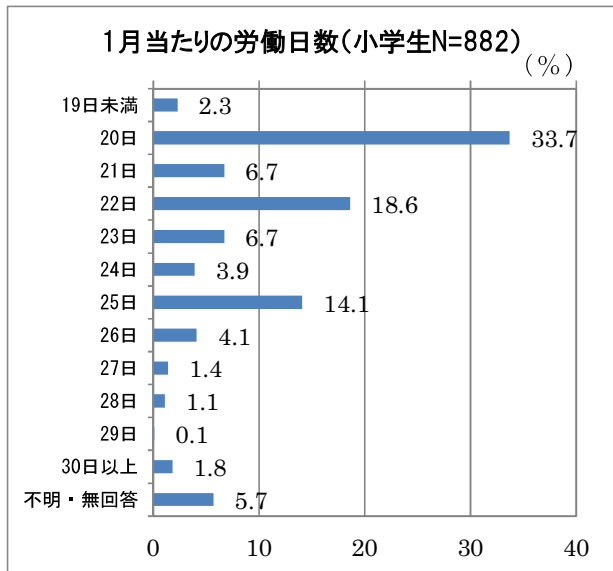


○主に家計を支えている方で、「1. 正社員、正規職員」、「2. 契約社員、派遣社員、パート、非正規職員」、「3. 自営業、家業」、「4. 日雇」と答えた方におたずねします。

【1月当たりの労働日数】

小学生では、「20日」が33.7%と最も高く、次いで「22日」が18.6%と高くなっている。中学生では、「20日」が34.5%と最も高く、次いで「22日」が18.2%と高くなっている。

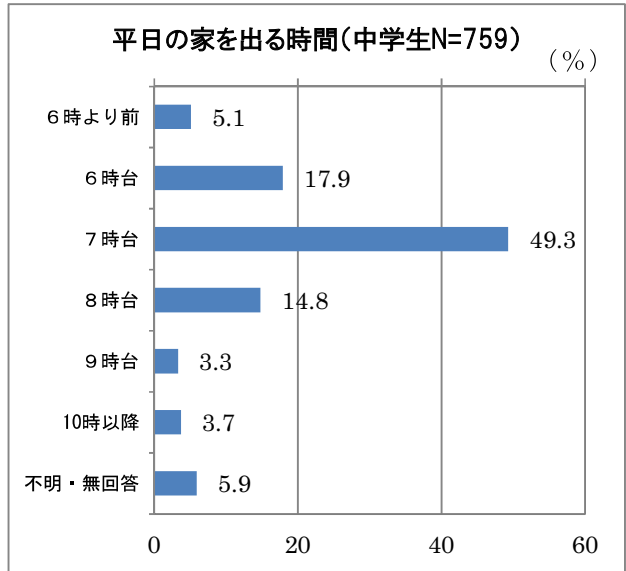
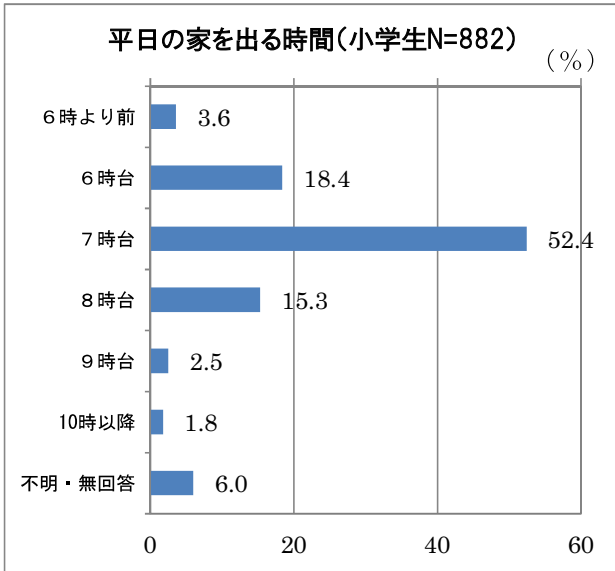
「20日」～「25日」の労働日数が小学生で83.7%、中学生で82.3%となっている。



【平日の家を出る時間】

小学生では、「7時台」が52.4%と最も高く、次いで「6時台」が18.4%と高くなっている。中学生では、「7時台」が49.3%と最も高く、次いで「6時台」が17.9%と高くなっている。

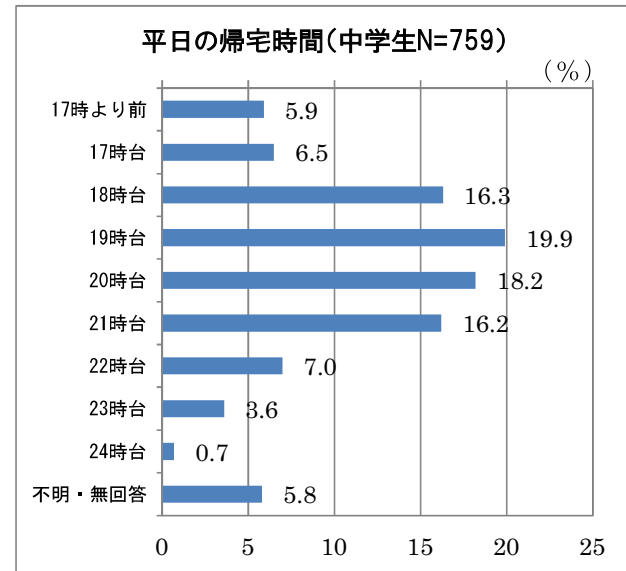
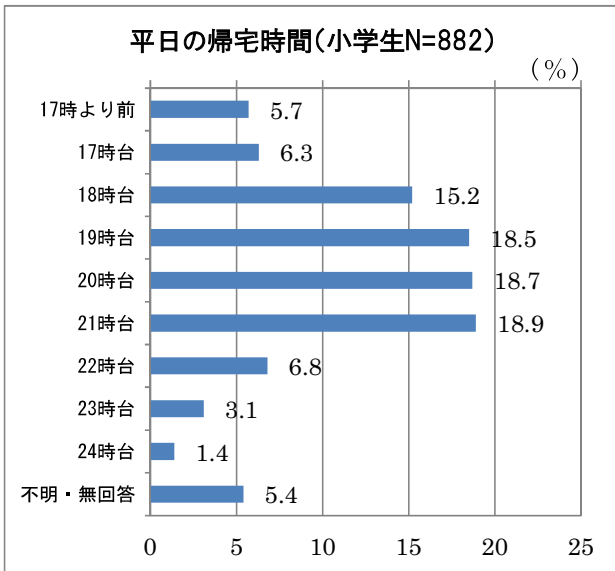
「6時台」～「8時台」が小学生では86.1%、中学生では82%となっている。



【平日の帰宅時間】

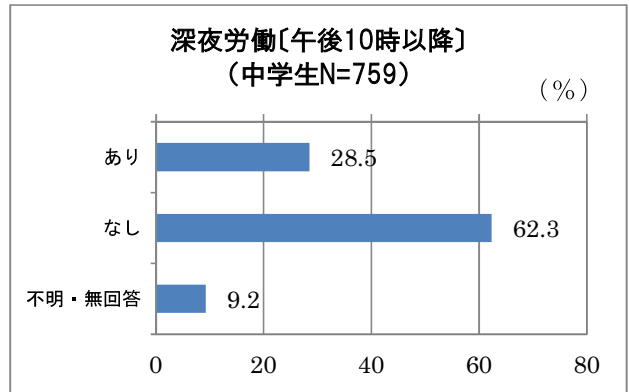
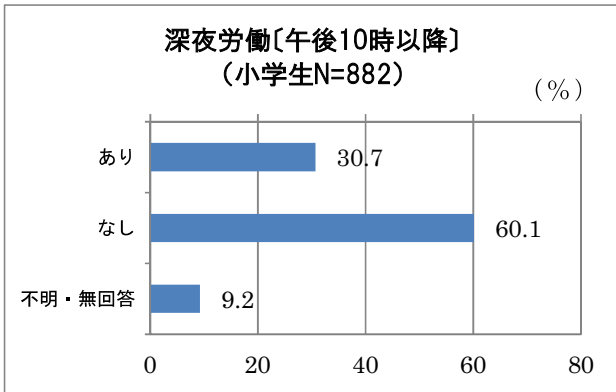
小学生では、「21時台」が18.9%と最も高く、次いで「20時台」が18.7%と高くなっている。中学生では、「19時台」が19.9%と最も高く、次いで「20時台」が18.2%と高くなっている。

「18時台」～「21時台」が小学生では71.3%、中学生では70.6%となっている。



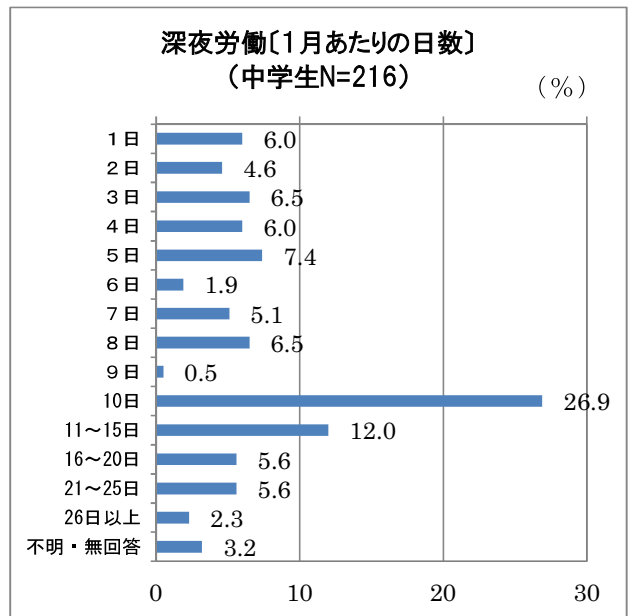
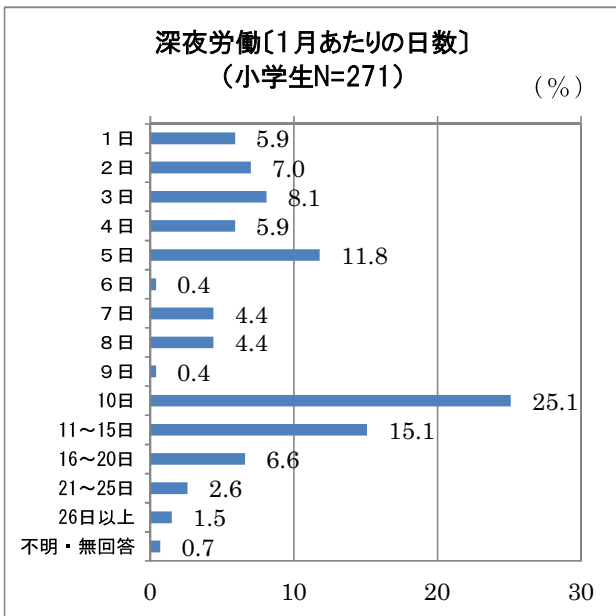
【深夜労働（午後10時以降）】

小学生では、「なし」が60.1%と高く、「あり」が30.7%となっている。中学生では、「なし」が62.3%と高く、「あり」が28.5%となっている。



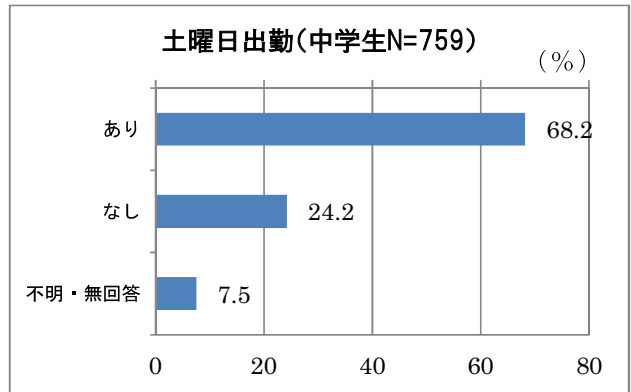
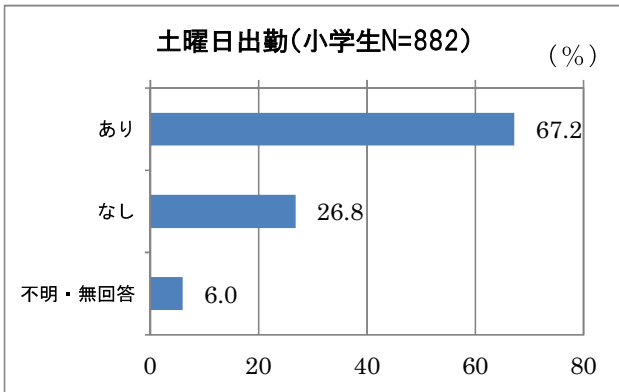
【深夜労働（1月あたりの日数）】

小学生では、「10日」が25.1%と最も高く、次いで「11～15日」が15.1%と高くなっている。中学生では、「10日」が26.9%と最も高く、次いで「11～15日」が12%と高くなっている。



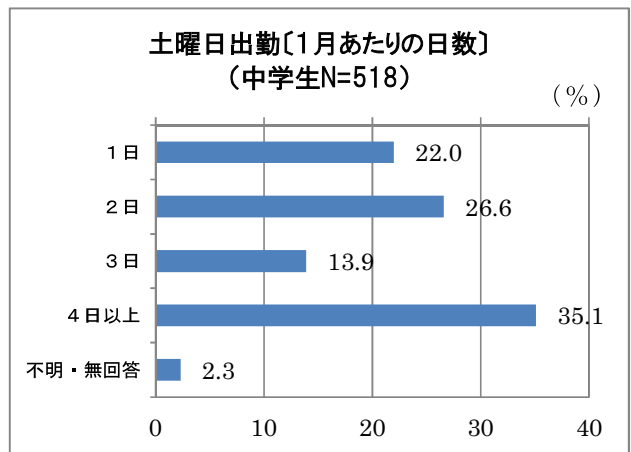
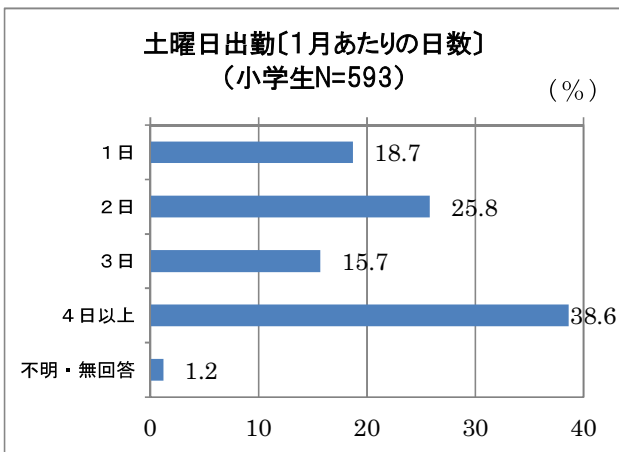
【土曜日出勤】

小学生では、「あり」が67.2%と高く、「なし」が26.8%となっている。中学生では、「あり」が68.2%と高く、「なし」が24.2%となっている。



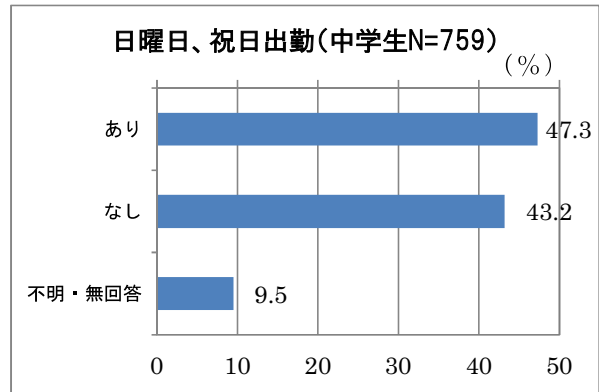
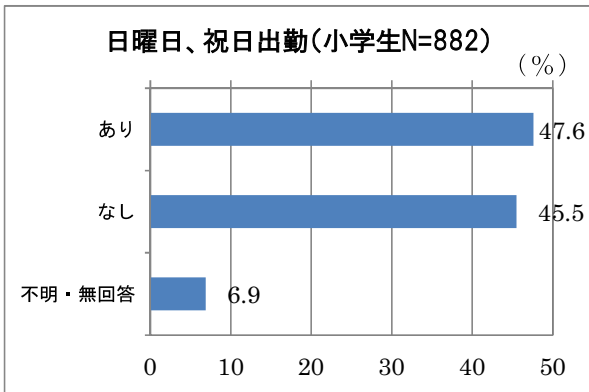
【土曜日出勤（1月あたりの日数）】

小学生では、「4日以上」が38.6%と最も高く、次いで「2日」が25.8%と高くなっている。中学生では、「4日以上」が35.1%と最も高く、次いで「2日」が26.6%と高くなっている。



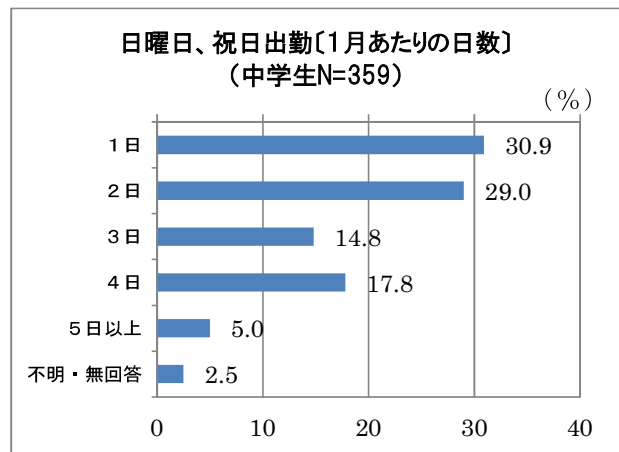
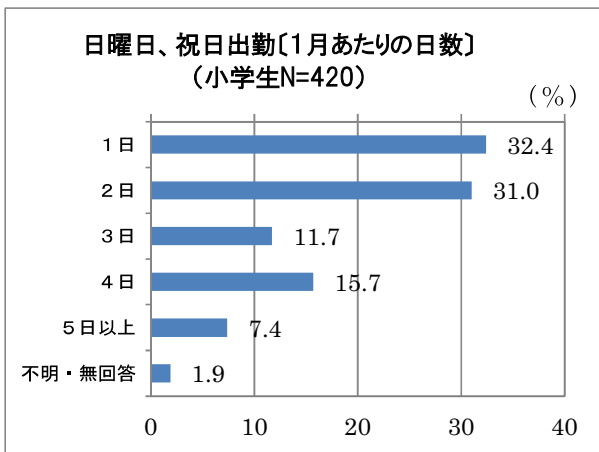
【日曜日、祝日出勤】

小学生では、「あり」が47.6%と高く、「なし」が45.5%となっている。中学生では、「あり」が47.3%と高く、「なし」が43.2%となっている。



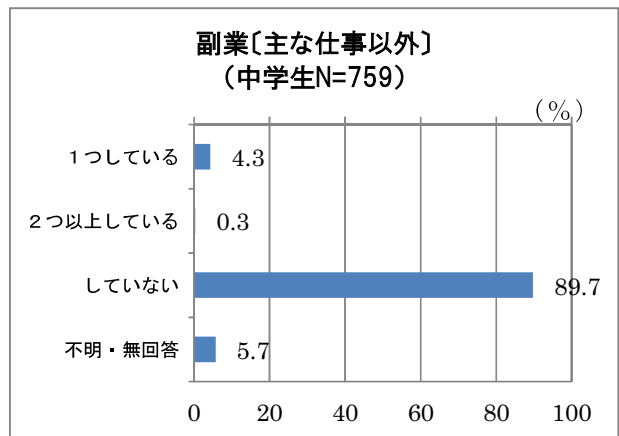
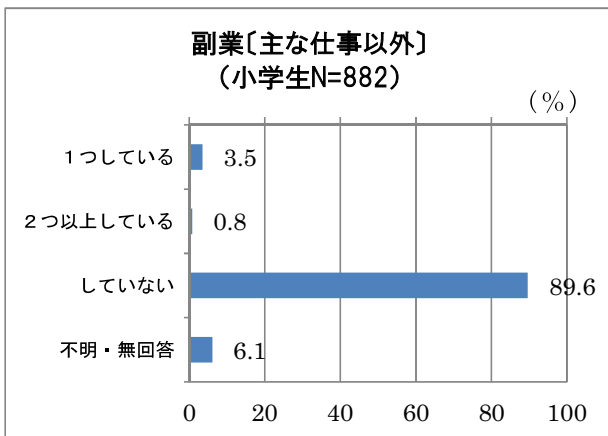
【日曜日、祝日出勤（1月あたりの日数）】

小学生では、「1日」が32.4%と最も高く、次いで「2日」が31%と高くなっている。中学生では、「1日」が30.9%と最も高く、次いで「2日」が29%と高くなっている。



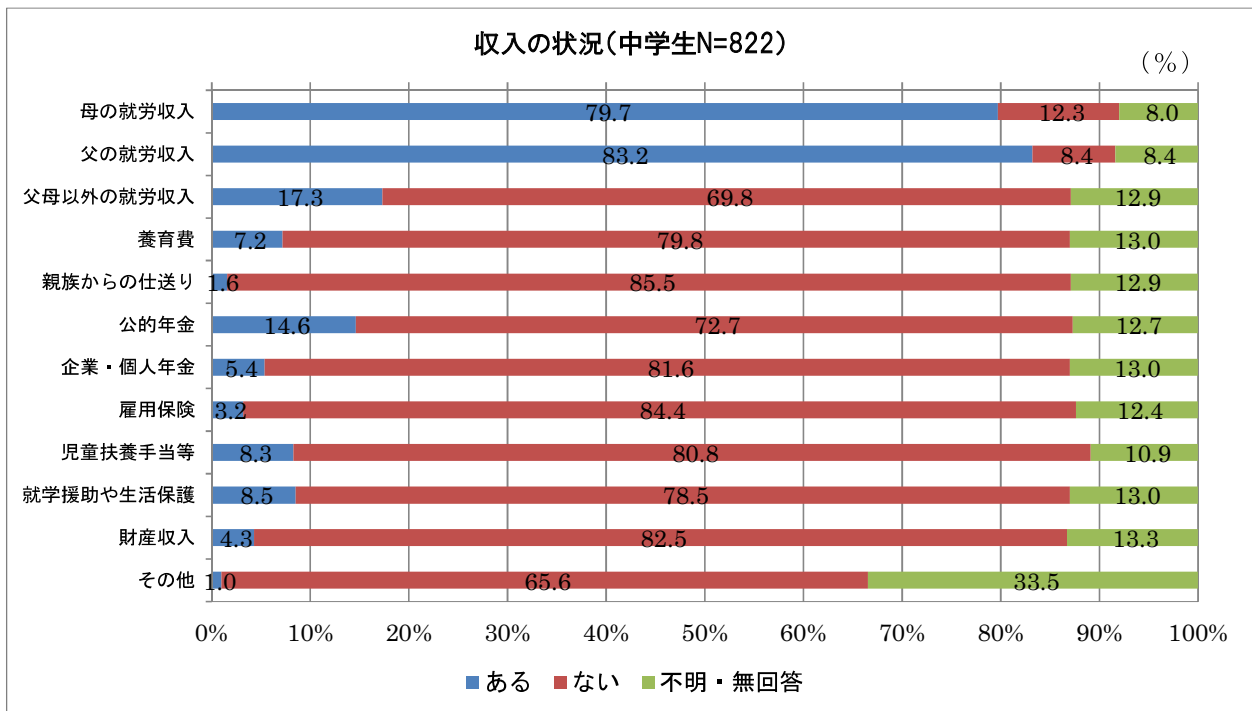
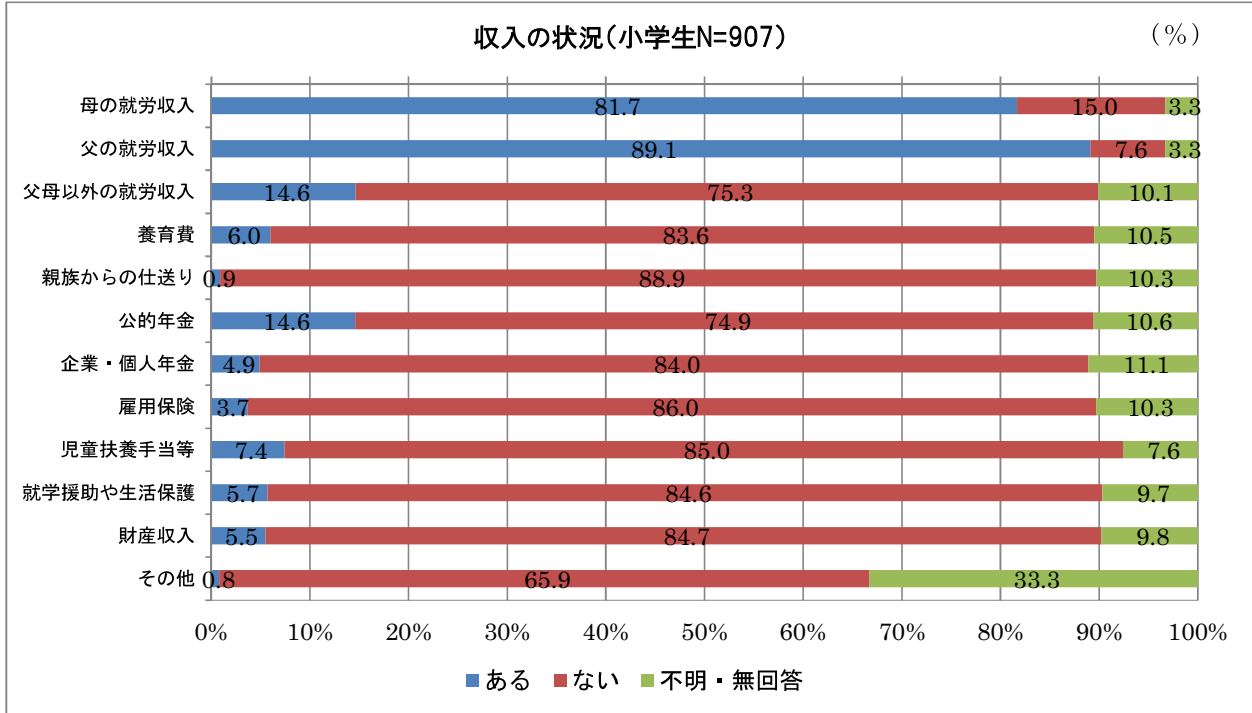
【副業（主な仕事以外）の状況】

「していない」が小学生では89.6%、中学生では89.7%と最も高く、「1つしている」は小学生では3.5%、中学生では4.3%となっている。



○あなたの世帯全体では1年間に以下の手当等の受給や収入はありましたか。

小学生では「父の就労収入」が89.1%と最も高く、次いで「母の就労収入」が81.7%となっている。中学生では「父の就労収入」が83.2%と最も高く、次いで「母の就労収入」が79.7%となっている。



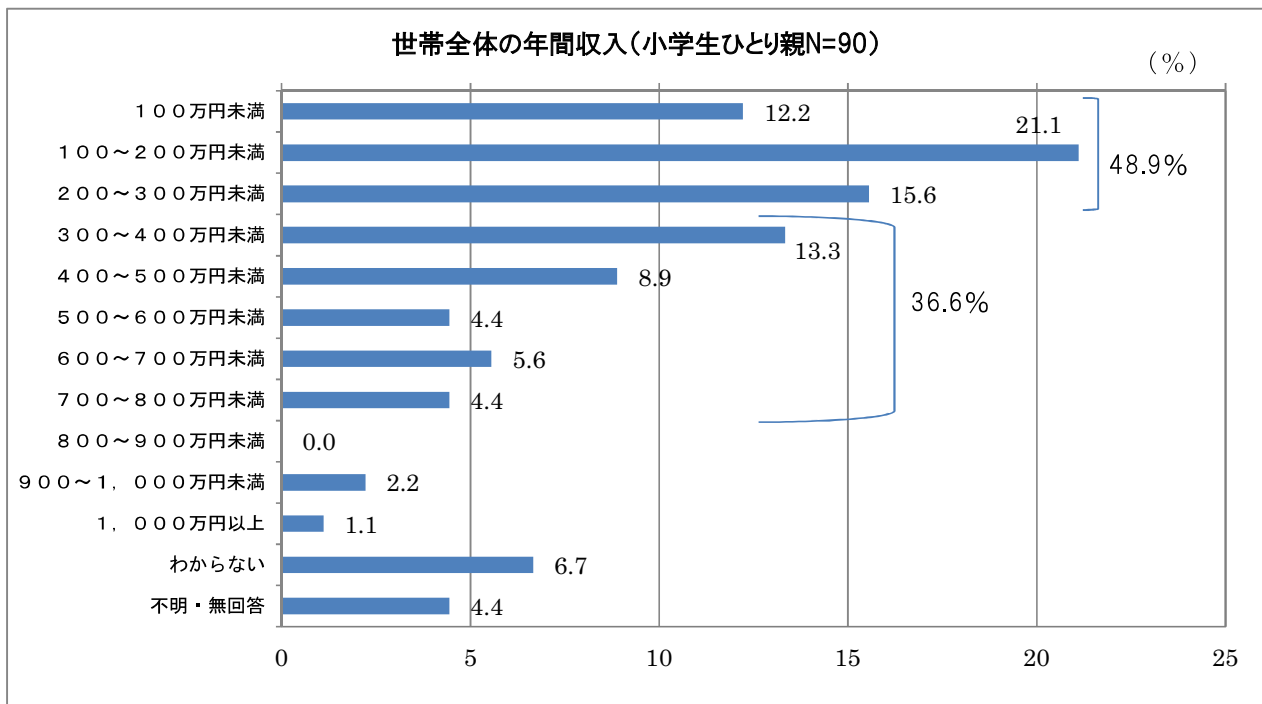
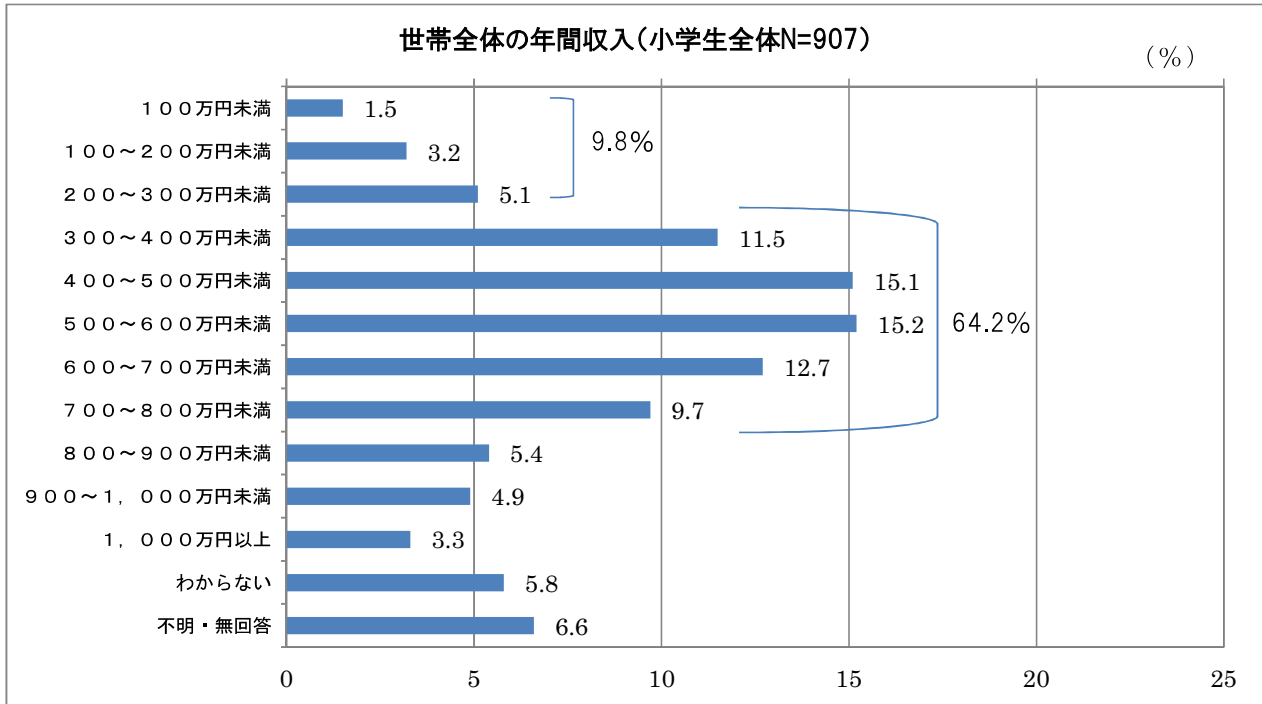
○世帯全体の年間(平成 29 年 1 月～12 月)の収入はおおよそいくらぐらいですか。

【小学生】

世帯全体の年収は、小学生世帯で「500～600 万円未満」が 15.2%、「400～500 万円未満」が 15.1%、「600～700 万円未満」が 12.7%となっている。

小学生世帯全体とひとり親家庭の収入状況を比べてみると、「300 万円未満」が世帯全体では 9.8%、ひとり親家庭では 48.9%、「300～800 万円未満」が世帯全体では 64.2%、ひとり親家庭では 36.6%となっている。

ひとり親家庭の年収は低い傾向にある。



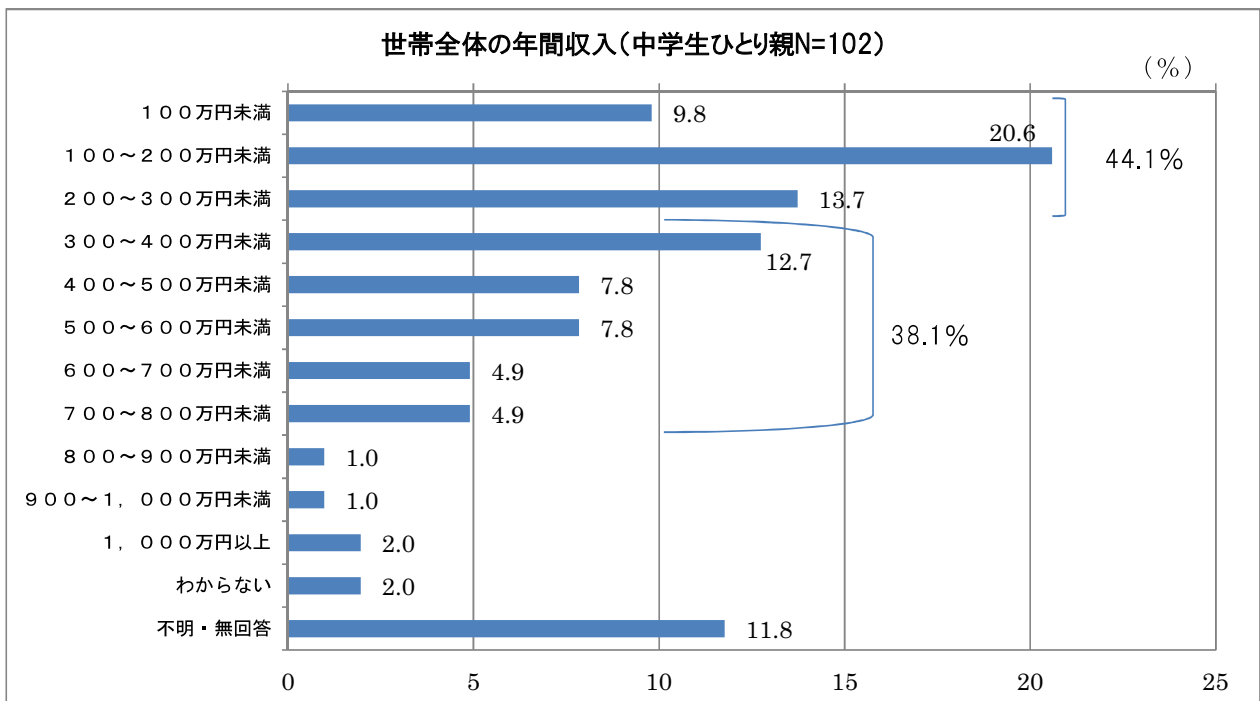
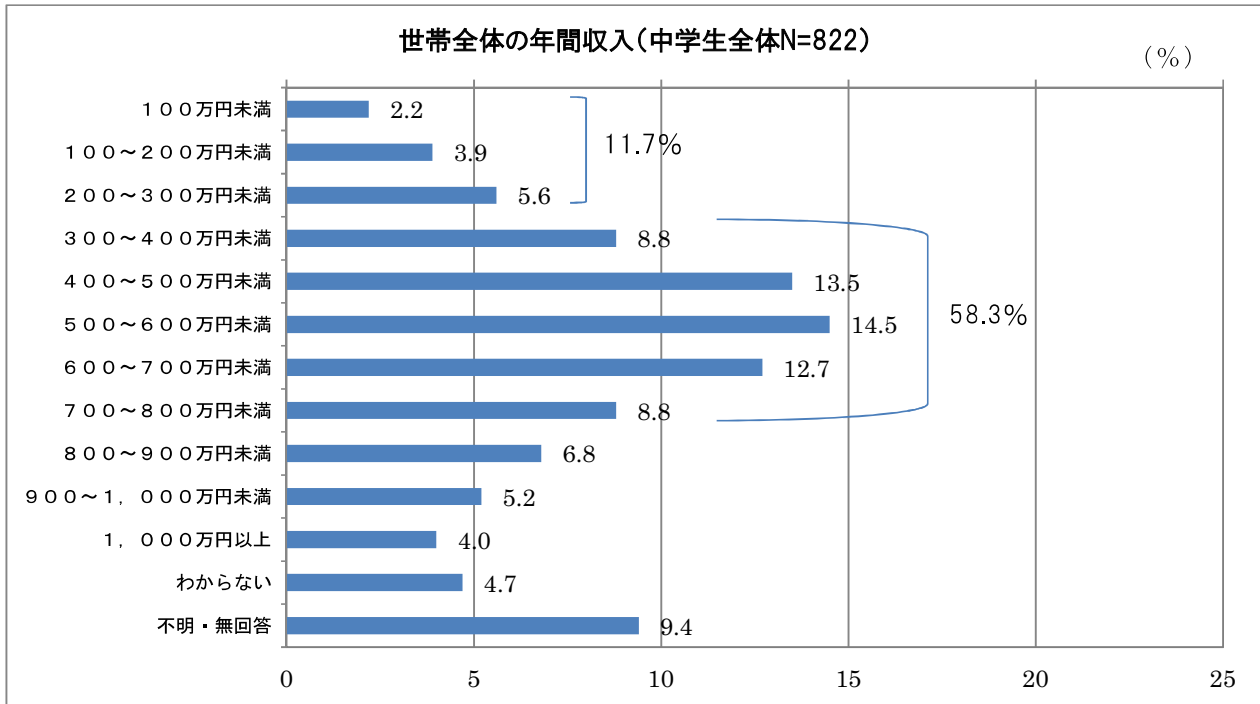
○世帯全体の年間(平成 29 年 1 月～12 月)の収入はおおよそいくらぐらいですか。

【中学生】

中学生世帯で「500～600 万円未満」が 14.5%、「400～500 万円未満」が 13.5%、「600～700 万円未満」が 12.7%となっている。

中学生世帯全体とひとり親家庭の収入状況を比べてみると、「300 万円未満」が世帯全体では 11.7%、ひとり親家庭では 44.1%、「300～800 万円未満」が世帯全体では 58.3%、ひとり親家庭では 38.1%となっている。

ひとり親家庭の年収は低い傾向にある。

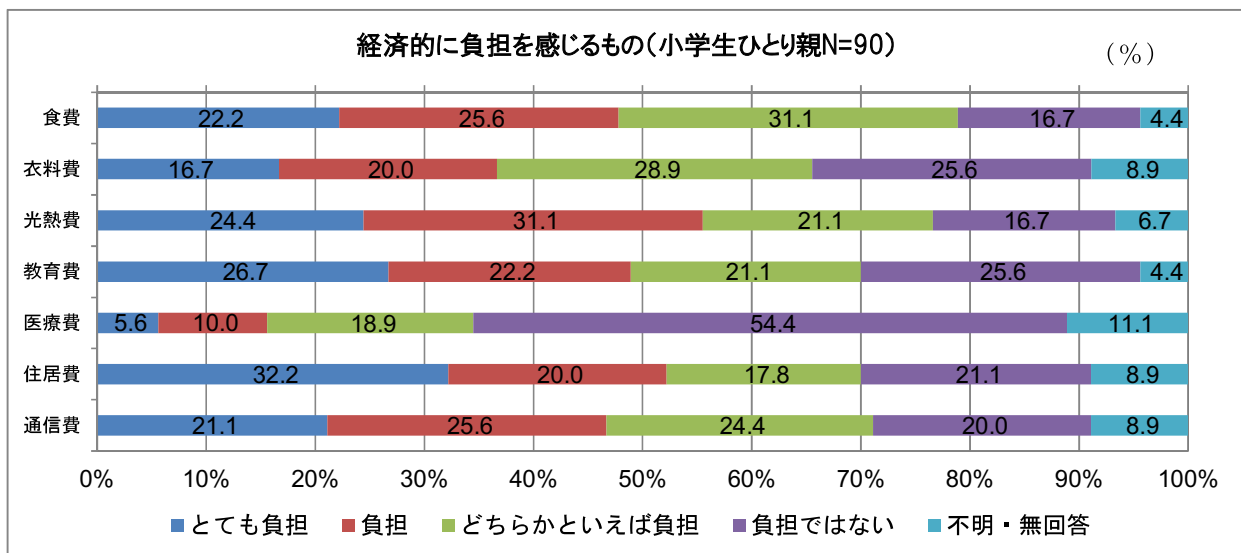
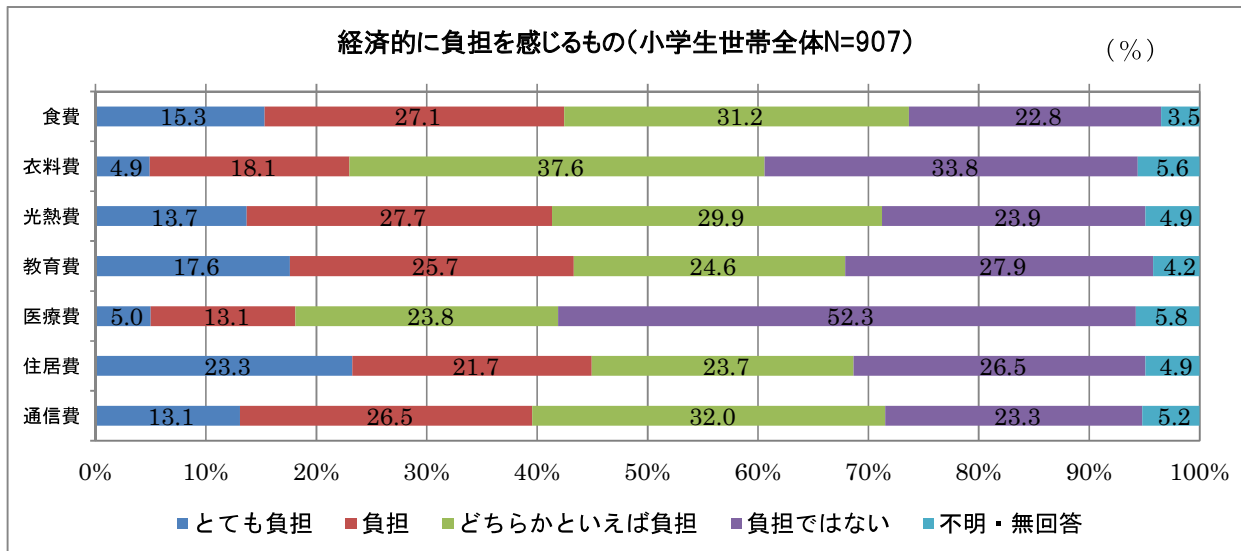


○特に経済的に負担になっているものはありますか。

【小学生】

全体では、負担を感じているもの（『とても負担』、『負担』、『どちらかといえば負担』の合計）で高い順に「食費」が73.6%、「通信費」が71.6%、「住居費」が68.7%となっている。

ひとり親世帯では、負担を感じているもの（『とても負担』、『負担』、『どちらかといえば負担』の合計）で高い順に「食費」が78.9%、「光熱費」が76.6%、「通信費」が71.1%となっている。

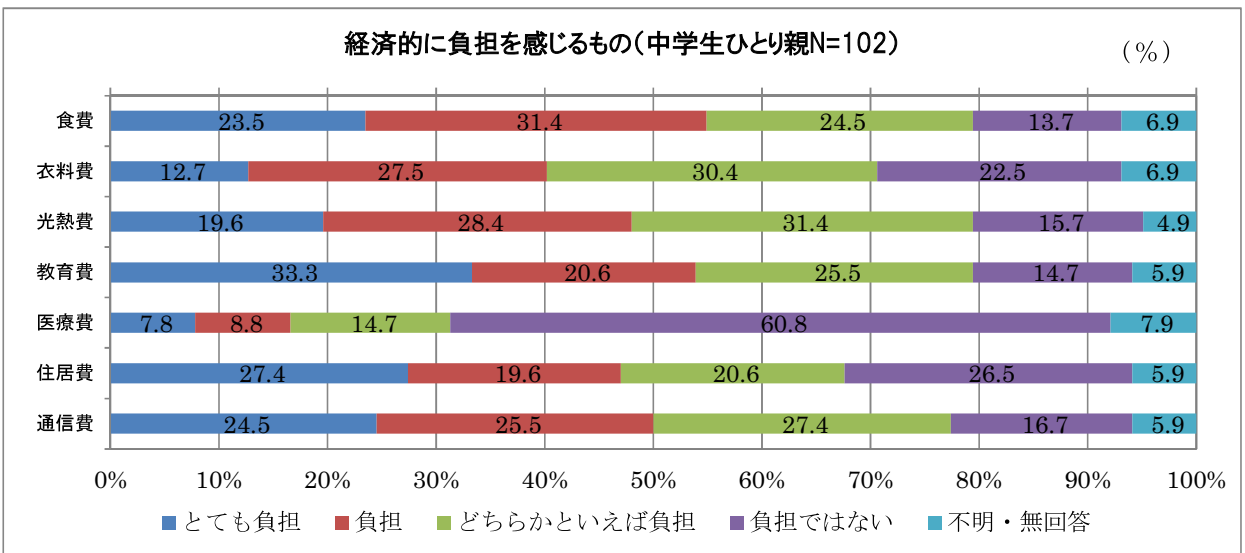
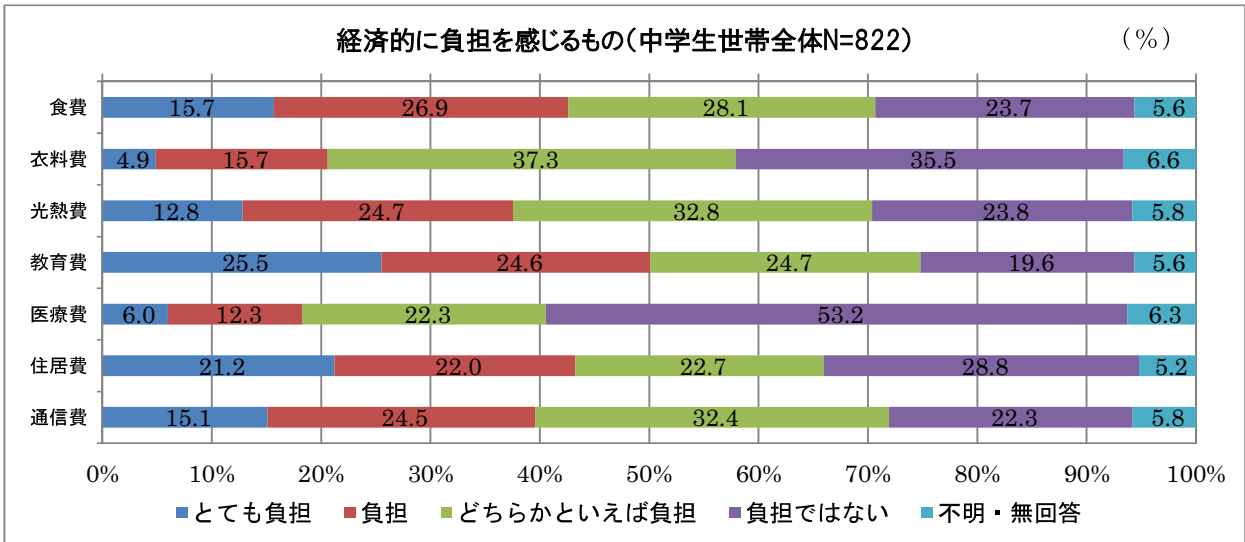


○特に経済的に負担になっているものはありますか。

【中学生】

全体では、負担を感じているもの（『とても負担』、『負担』、『どちらかといえば負担』の合計）で高い順に「教育費」が74.8%、「通信費」が72%、「食費」が70.7%となっている。

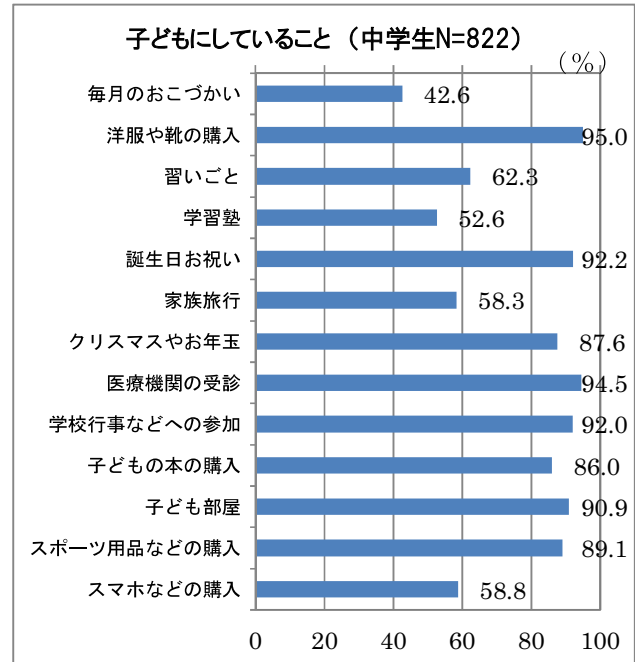
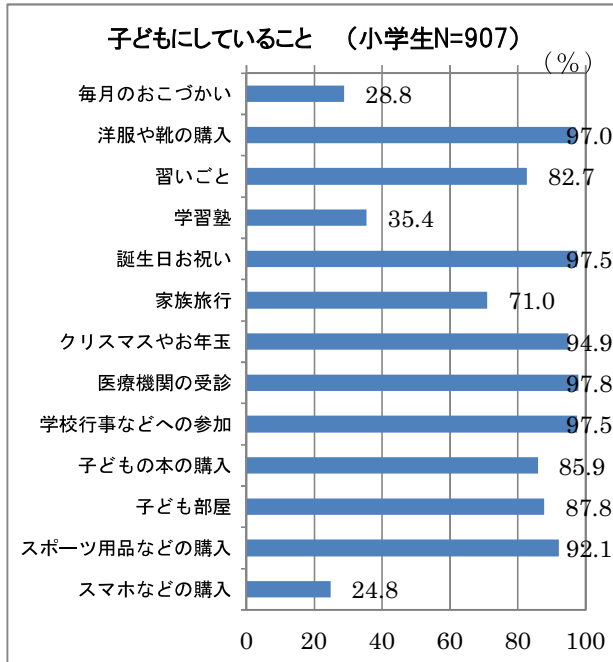
ひとり親世帯では、負担を感じているもの（『とても負担』、『負担』、『どちらかといえば負担』の合計）で高い順に「食費」、「光熱費」、「教育費」が79.4%となっている。



○あなたのご家庭ではお子さんに次のことをしていますか。

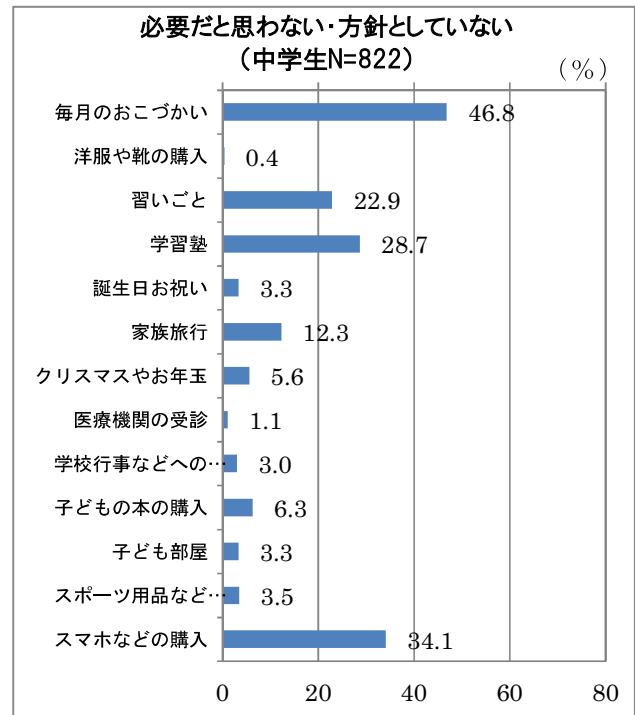
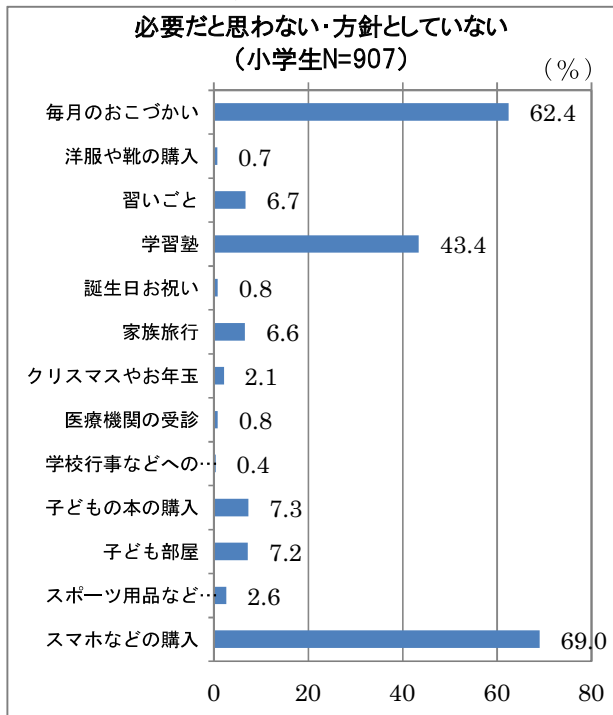
『子どもにしている』こととして、小学生では「医療機関の受診」が97.8%、「学校行事などへの参加」、「誕生日のお祝い」が97.5%と高くなっている。

中学生では「洋服や靴の購入」が95%、「医療機関の受診」が94.5%、「学校行事などへの参加」が92%と高くなっている。



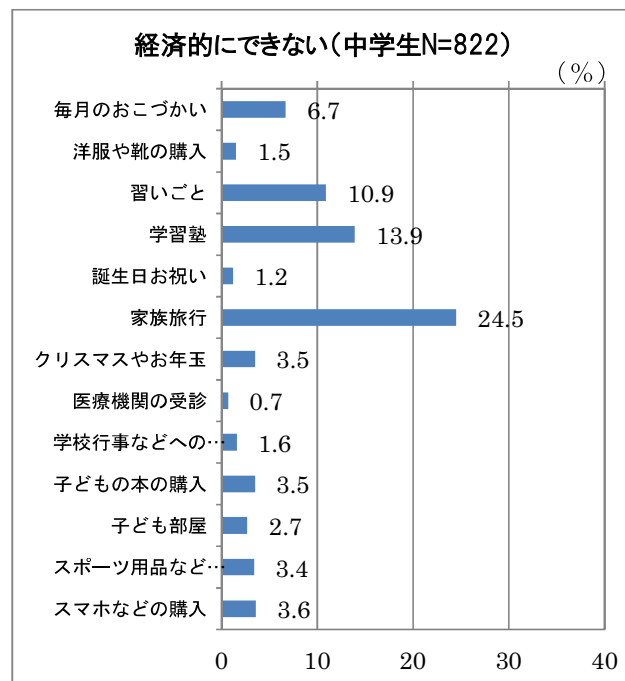
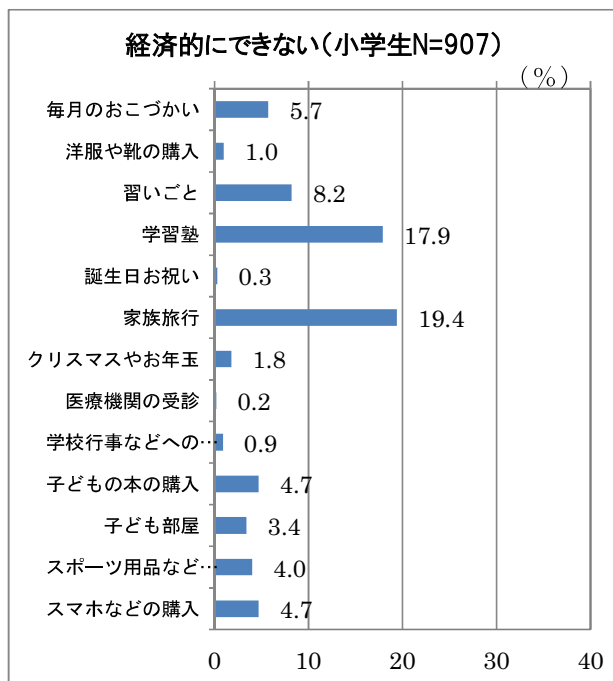
『していない』の中で「必要だと思わない・方針としていない」こととして、小学生では「スマホなどの購入」が69%、「毎月のおこづかい」が62.4%、「学習塾」が43.4%と高くなっている。

中学生では「毎月のおこづかい」が46.8%、「スマホなどの購入」が34.1%、「学習塾」が28.7%と高くなっている。



○あなたのご家庭ではお子さんに次のことをしていますか。

『していない』の中で「経済的にできないこと」として、「年1回家族旅行」が小学校では19.4%、中学校では24.5%と最も高く、次いで「学習塾」が小学校では17.9%、中学校では13.9%と高くなっている。

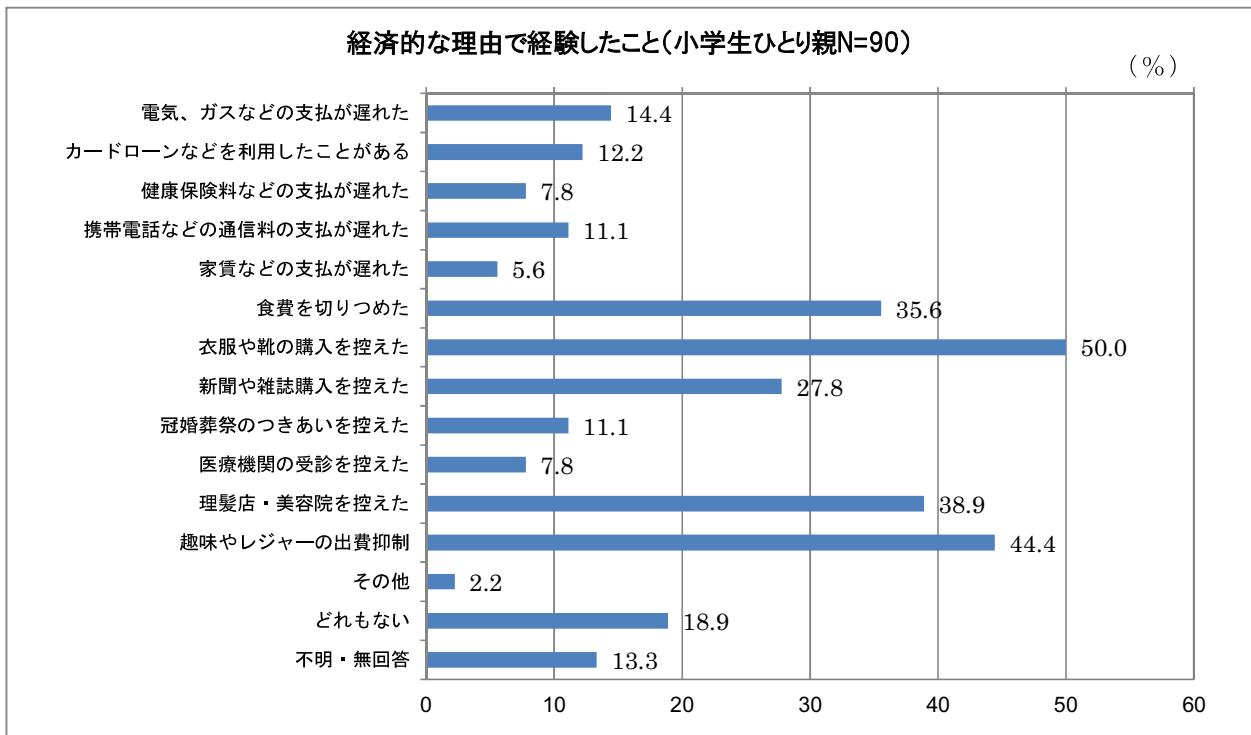
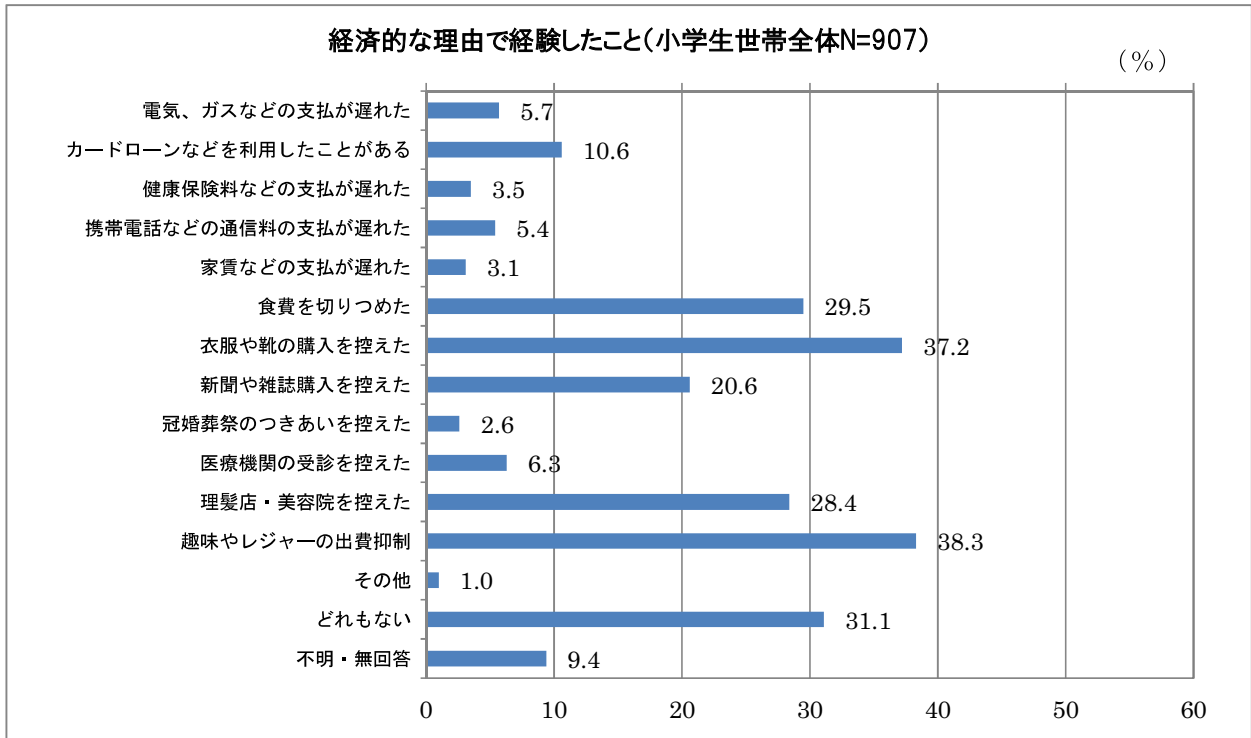


○経済的な事情で次のような経験をしたことがありますか。

【小学生】

世帯全体では「趣味やレジャーの出費抑制」が 38.3%、「衣類・靴の購入を控えた」が 37.2%、「どれもない」が 31.1%の順で割合が高い。

ひとり親家庭では、「衣類・靴の購入を控えた」が 50%、「趣味やレジャーの出費抑制」が 44.4%、「理髪店・美容院を控えた」が 38.9%の順で割合が高い。

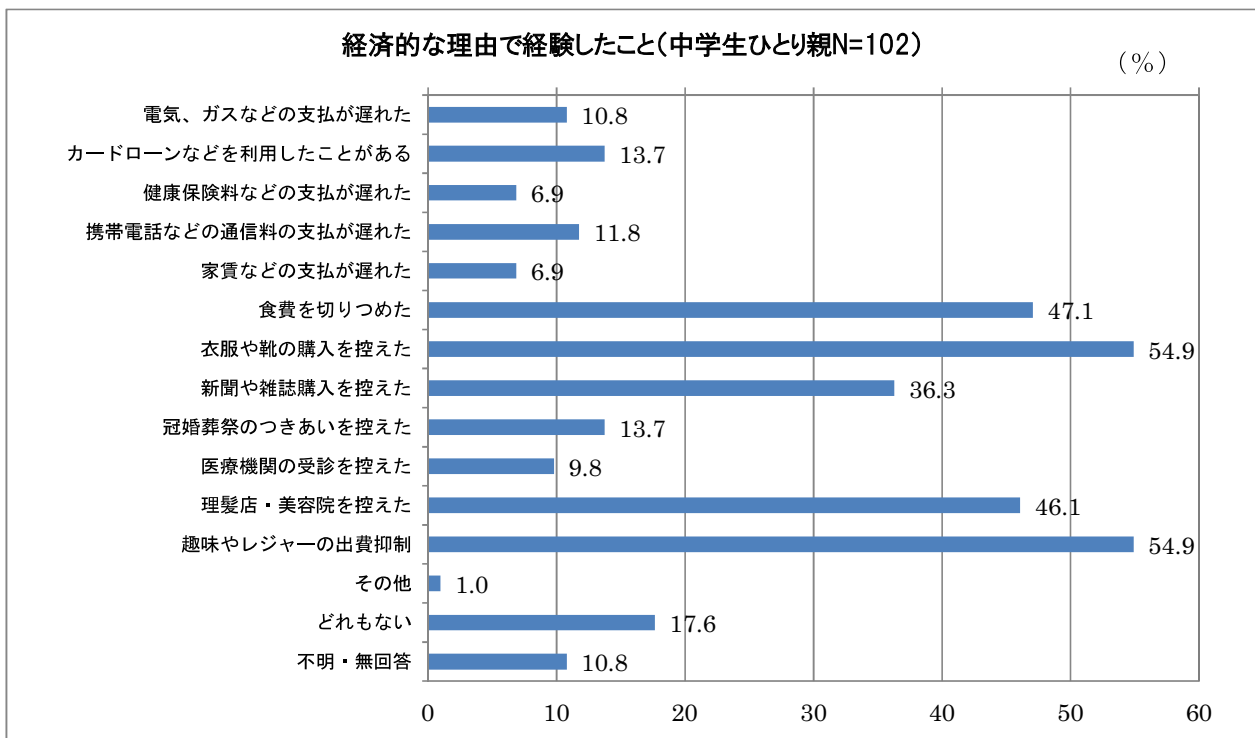
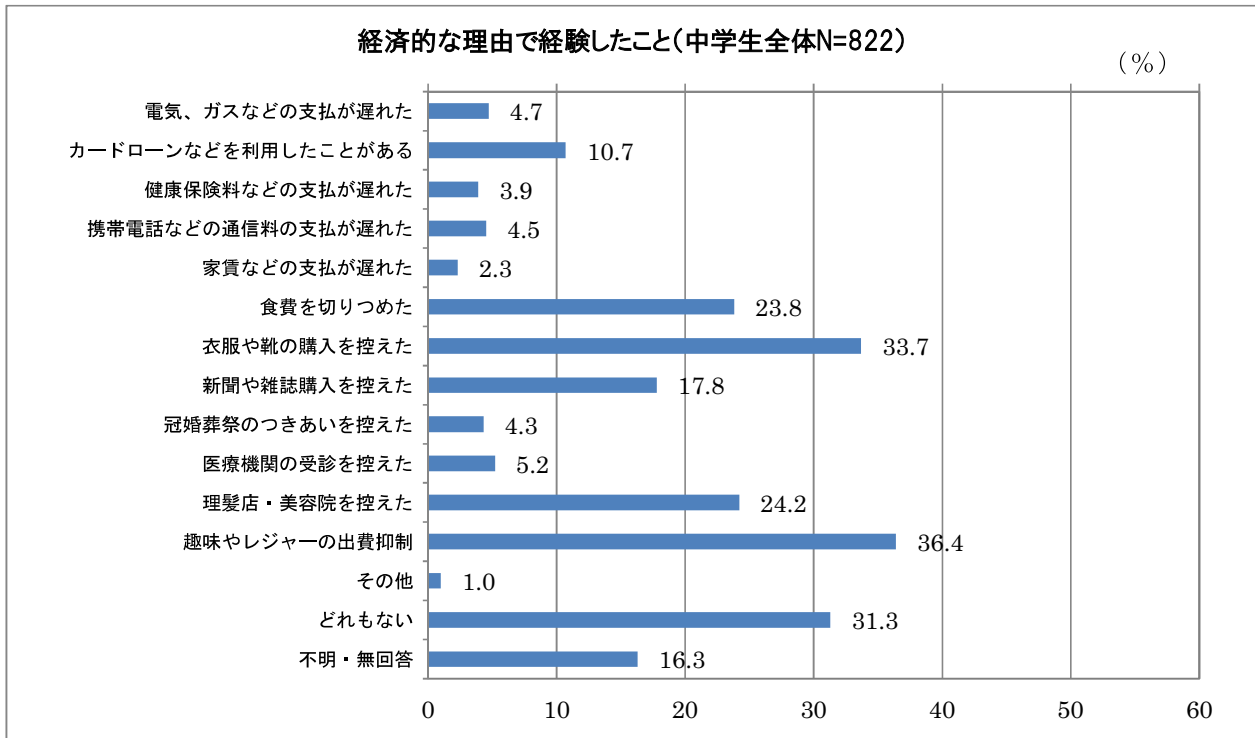


○経済的な事情で次のような経験をしたことがありますか。

【中学生】

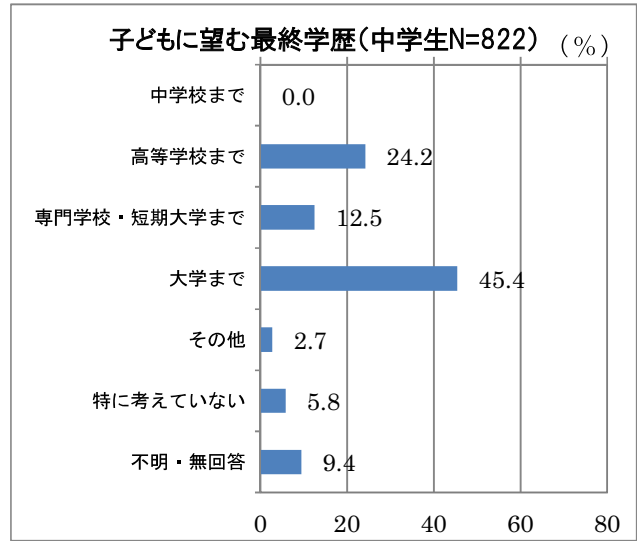
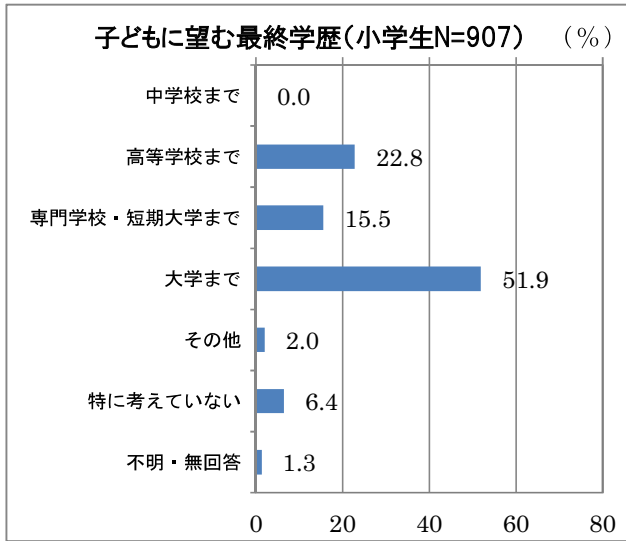
世帯全体では「趣味やレジャーの出費抑制」が 36.4%、「衣類・靴の購入を控えた」が 33.7%、「どれもない」が 31.3%の順で割合が高い。

ひとり親家庭では、「衣類・靴の購入を控えた」、「趣味やレジャーの出費抑制」が 54.9%、「食費を切りつめた」が 47.1%の順で割合が高い。



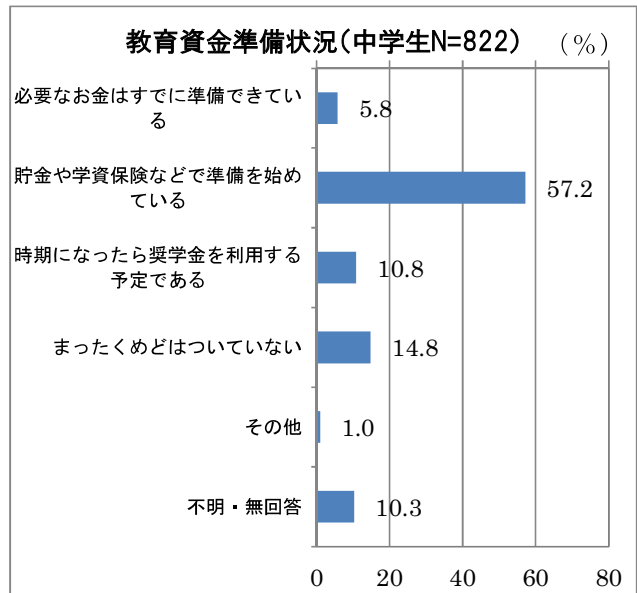
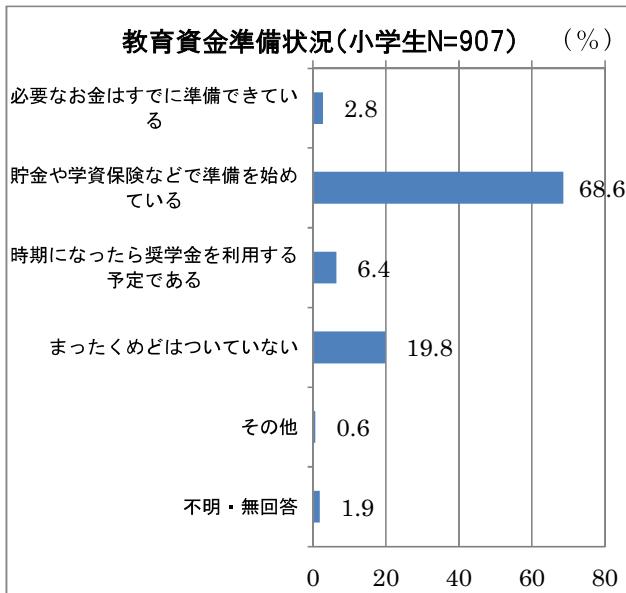
○お子さんに理想としてどの程度の学校まで進んでほしいと思いますか。

理想の学歴としては、「大学まで」が最も高く小学生で 51.9%、中学生で 45.4%、「高等学校まで」が次に高く、小学生で 22.8%、中学生で 24.2%となっている。



○教育を受けさせるための、お金の準備の状況をお答えください。

お金の準備状況として、「貯金や学資保険などで準備を始めている」が小学生で 68.6%、中学生で 57.2%と最も高く、「まったくめどはついていない」が次に高く、小学生で 19.8%、中学生で 14.8%となっている。



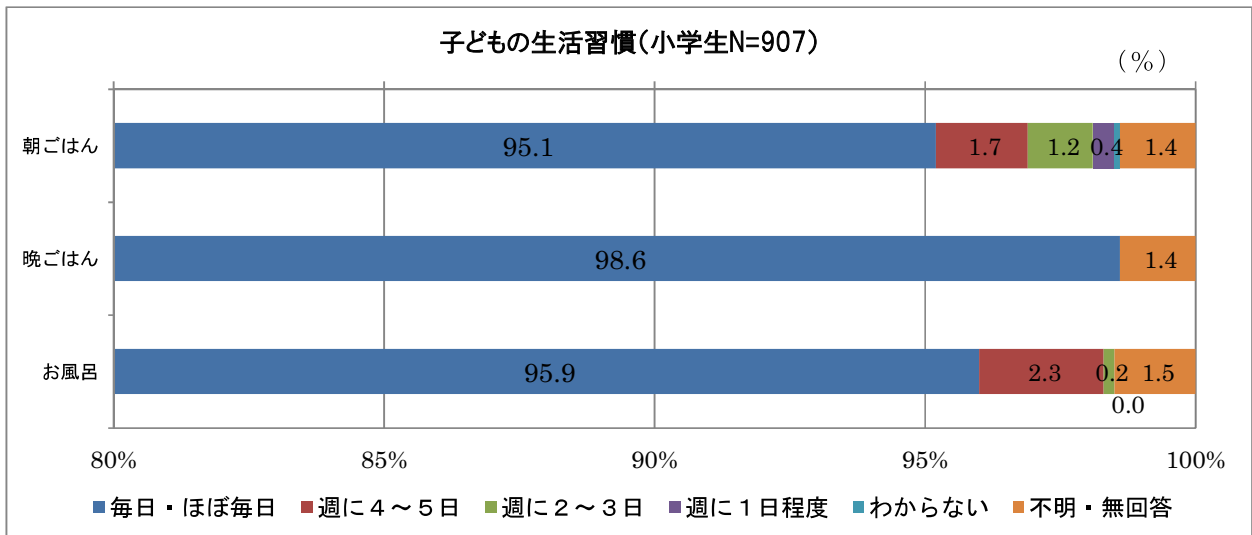
○お子さんの生活習慣についてお答えください。

【小学生】

『朝ごはんを食べる』は、「毎日」が95.1%と最も高く、次いで「週4～5日」が1.7%、「週2～3日」が1.2%となっている。

『晩ごはんを食べる』は、「毎日」が98.6%と最も高く、「わからない」が1.4%となっており、「毎日」と「わからない」以外の回答はありませんでした。

『お風呂に入る』は、「毎日」が95.9%と最も高く、次いで「週4～5日」が2.3%となっている。



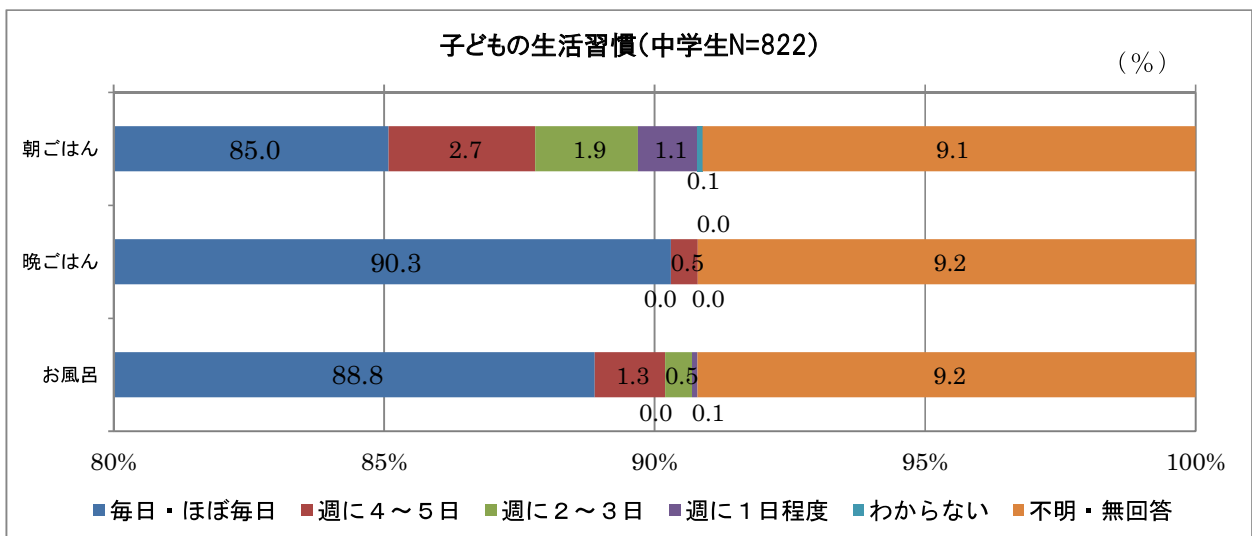
【中学生】

『朝ごはんを食べる』は、「毎日」が85.0%と最も高く、次いで「週4～5日」が2.7%、「週2～3日」が1.9%となっている。

『晩ごはんを食べる』は、「毎日」が90.3%と最も高く、「週4～5日」が0.5%となっている。

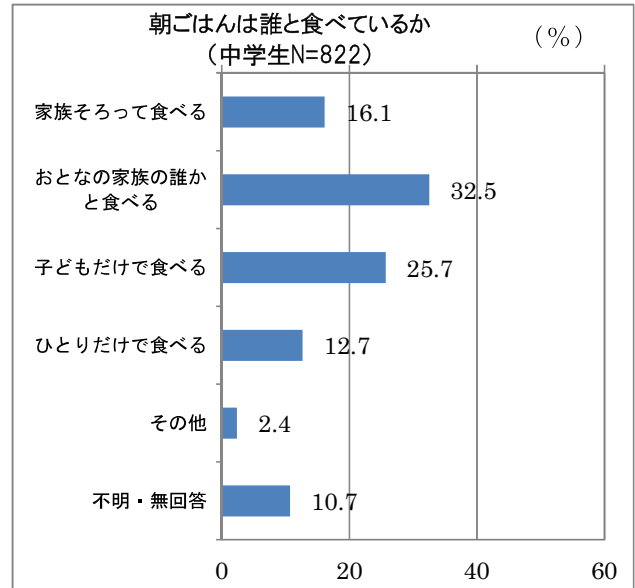
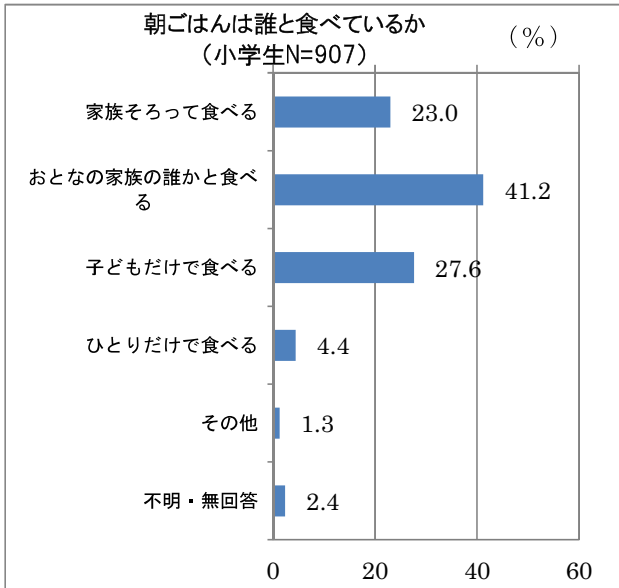
『お風呂に入る』は、「毎日」が88.8%と最も高く、次いで「週4～5日」が1.3%となっている。

小学生の回答と比べて1割弱の「回答なし」があった。



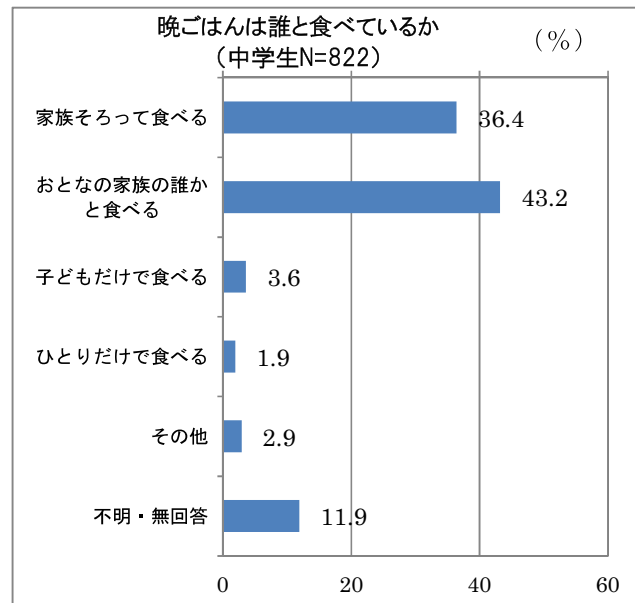
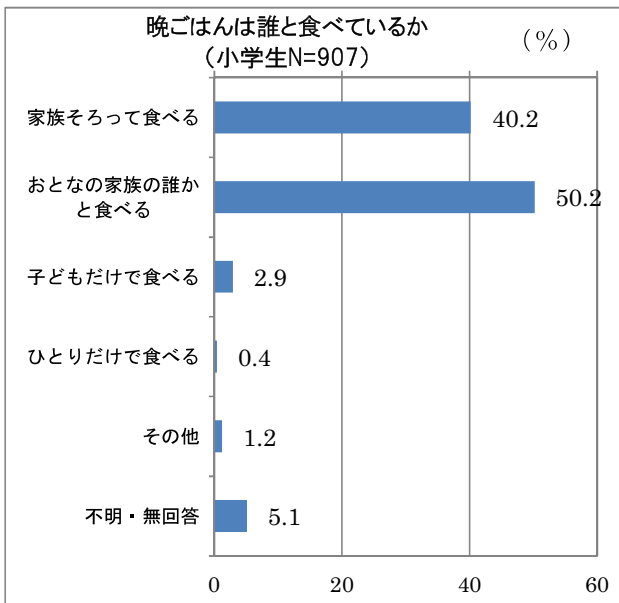
○お子さんの朝ごはんはいつも誰と食べていますか。

「おとなの家族の誰かと食べる」が小学生で41.2%、中学生で32.5%と最も高く、次いで「子どもだけで食べる」が小学生で27.6%、中学生で25.7%となっている。



○お子さんの晩ごはんはいつも誰と食べていますか。

「おとなの家族の誰かと食べる」が小学生で50.2%、中学生で43.2%と最も高く、「家族そろって食べる」が小学生で40.2%、中学生で36.4%となっている。小学生で90.4%、中学生で79.6%がおとなと食べているという結果になっている。

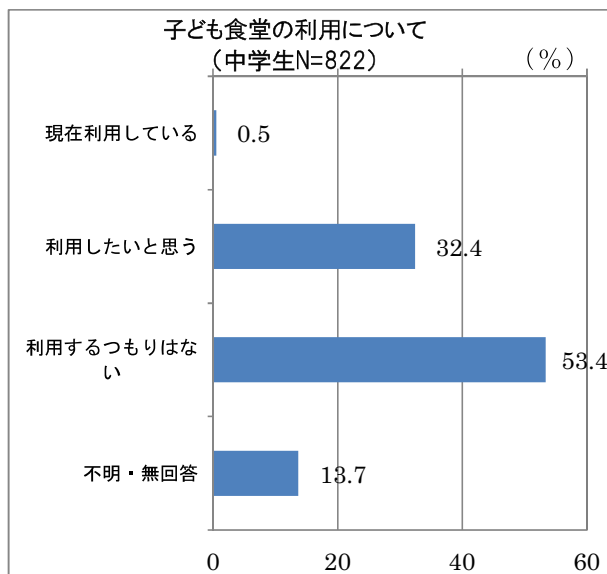
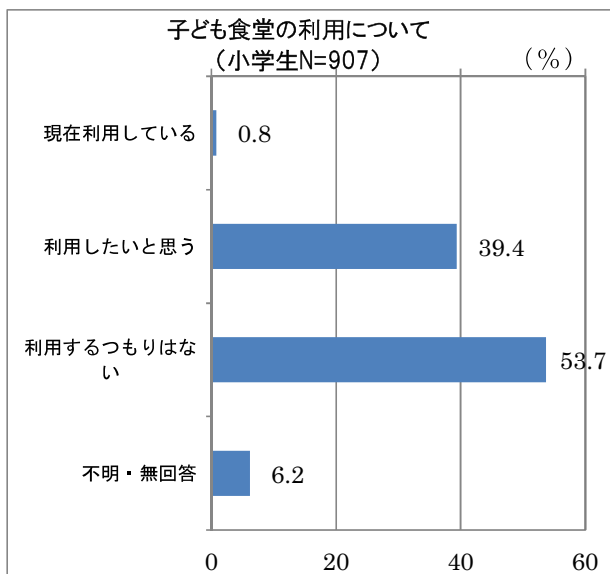


○安価な利用料金で栄養バランスのとれた食事の提供をする子ども食堂などの居場所があった場合、利用したいと思いますか。

「利用するつもりはない」が小学生で 53.7%、中学生で 53.4%と最も高く、「利用したい」が小学生で 39.4%、中学生で 32.4%となっている。

小学生の「利用するつもりはない」理由として、「食事の用意ができる」が 31.5%、「家族での食事が良い」が 27%、「不要」が 24.6%となっている。

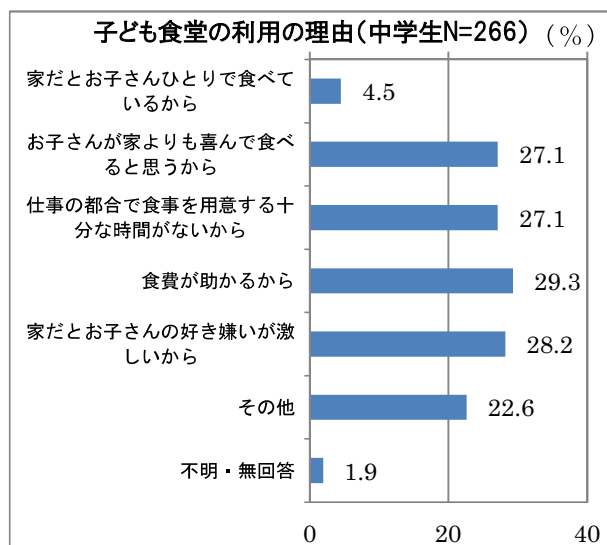
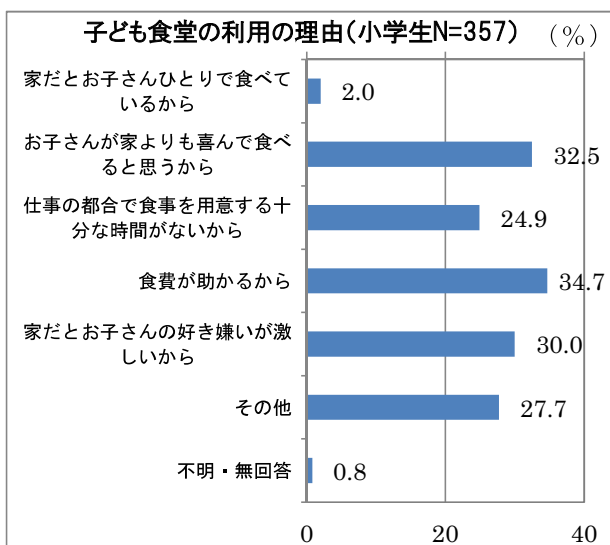
中学生の「利用するつもりはない」理由として、「食事の用意ができる」が 47.2%、「家族での食事が良い」が 19.7%、「不要」が 19.1%となっている。



○子ども食堂を利用したい理由をお答えください。

小学生では、「食費が助かる」が 34.7%で最も高く、次いで「お子さんが家より喜んで食べると思うから」が 32.5%となっている。中学生では、「食費が助かる」が 29.3%で最も高く、「家だとお子さんの好き嫌いが激しいから」が 28.2%となっている。

「その他」の自由記述として多かったのが、「コミュニケーションがとれる」が小学生、中学生とも 4 割を占めている。



子どもの生活等に関する調査 自由記述(小学生)

【1 こどもの学習支援や教育に関する支援について】

分類	件数	割合	主な回答内容
学習支援	102	39.7%	放課後や長期休暇中の補習授業や無料又は安価で勉強が出来る場所の提供
教育方針	36	14.0%	少人数クラス化・土曜日の授業を設ける
学費等への不満や要望	31	12.1%	大学までの教育費の無償化・私立学校の助成
学校の環境・体制整備	23	8.9%	教師の増員や教師・生徒のサポーター増員・不登校児の支援
教育に係る経済支援	15	5.8%	給食費、学級費の無償化・習い事に対する助成
障害者施策の充実	10	3.9%	児童にあった学習支援やサポートの充実
塾等の負担軽減	9	3.5%	塾代の助成
その他	31	12.1%	
合計	257	100.0%	

【2 経済的支援について】

分類	件数	割合	主な回答内容
教育に係る経済支援	53	25.5%	給食費、学級費の無償化・塾代の助成・給付型奨学金・学用品のリサイクルシステム
児童手当等の拡充	31	14.9%	高校卒業まで受給期間の延長・手当の増額
医療費助成の拡充	28	13.5%	高校卒業まで医療費無償の延長
学費等への不満や要望	26	12.5%	給食費、学級費の無償化・大学までの無償化
制度改善	21	10.1%	奨学金支給要件緩和・給付金の現物給付・義務教育の無償化
多子世帯への支援	8	3.8%	多子世帯への手当の増額・給食費の助成・減免制度の拡充
その他	41	19.7%	
合計	208	100.0%	

【3 生活支援について】

分類	件数	割合	主な回答内容
子どもの居場所づくり	18	18.2%	学童以外の居場所・土日の居場所・子ども食堂と学習支援の併設
医療費助成の拡充	14	14.1%	高校卒業まで医療費無償の延長・予防接種の助成や無償化
子育て世帯への支援	13	13.1%	ファミサポの充実・食料品等の割引制度
制度改善	12	12.1%	病児保育の小学生までの対象拡充
子ども食堂	7	7.1%	子ども食堂の設置
児童手当等の拡充	4	4.0%	高校卒業まで受給期間の延長・手当の増額
教育に係る経済支援	4	4.0%	学用品のリサイクルシステム・教材費の助成制度
その他	27	27.3%	
合計	99	100.0%	

【4 保護者や子どもの就労支援について】

分類	件数	割合	主な回答内容
支援体制の拡充	22	20.2%	土日の子どもの居場所・病児保育の小学生までの対象拡充・ファミサポの充実
給与改善・福利厚生等充実	20	18.3%	時短制度の普及・育児休暇など取得しやすい環境整備・パート社員の処遇改善
仕事と育児の両立支援	16	14.7%	就労と子育ての両立が出来る社会・ひとり親のサポート体制
学童保育所等の充実	13	11.9%	学童保育所の時間延長・定員の拡充
制度改善	10	9.2%	配偶者控除の見直し・学校行事などで休みやすい環境整備
長期休暇中の居場所づくり	10	9.2%	長期休暇中に利用できる学童保育所や子どもの居場所づくり
その他	18	16.5%	
合計	109	100.0%	

【5 その他について】

分類	件数	割合	主な回答内容
制度改善	27	20.9%	父親の家事育児参加促進のための取組
子ども施策の充実	21	16.3%	障害児支援の充実・共働き世帯への支援の充実
子どもの居場所づくり	20	15.5%	放課後や休日に安心して遊べる場所・学童保育所の充実
教育方針	9	7.0%	発達障害児への相互理解・学力向上に向けた教育
学校の環境・体制整備	6	4.7%	教師の増員
医療費助成の拡充	5	3.9%	高校卒業まで医療費無償の延長
インフラ整備	4	3.1%	公共交通便の充実・バスの増便
その他	37	28.7%	
合計	129	100.0%	

子どもの生活等に関する調査 自由記述(中学生)

【1 こどもの学習支援や教育に関する支援について】

分類	件数	割合	主な回答内容
学習支援	77	35.8%	塾に代わる学習指導・放課後の補習授業・公共施設を開放した自習室
教育方針	35	16.3%	少人数クラス化・塾を必要としない学習指導
学費等への不満や要望	30	14.0%	教材費の支給・就学援助制度の充実・教育費の無償化
教育に係る経済支援	27	12.6%	給食費の無償化・児童手当の増額・私立校の助成
塾等の負担軽減	10	4.7%	塾代の助成
学校の環境・体制整備	6	2.8%	支援員の増員・教師の労働条件の改善・保育士の処遇改善
障害者施策の充実	5	2.3%	養護学校や支援学級の職員体制の強化
その他	25	11.6%	
合計	215	100.0%	

【2 経済的支援について】

分類	件数	割合	主な回答内容
教育に係る経済支援	43	24.0%	給食費の無償化・塾代の助成・通学費の助成・制服や体操服のリサイクルシステム
医療費助成の拡充	33	18.4%	高校卒業まで医療費無償の延長・予防接種の助成や無償化
学費等への不満や要望	30	16.8%	奨学金制度の充実・高校授業料の免除・大学までの無償化
児童手当等の拡充	23	12.8%	高校卒業まで受給期間の延長・手当の増額
制度改善	12	6.7%	給付型奨学金制度・奨学金免除制度
生活困窮家庭への支援	7	3.9%	低所得世帯への税率軽減と給付
多子世帯への支援	2	1.1%	多子世帯への経済的な支援
その他	29	16.2%	
合計	179	100.0%	

【3 生活支援について】

分類	件数	割合	主な回答内容
子育て世帯への支援	15	20.8%	休日出勤時の子どものサポート・子どもの成長に合わせた経済的な支援
児童手当等の拡充	8	11.1%	高校卒業まで受給期間の延長・手当の増額
教育に係る経済支援	4	5.6%	給食費の無償化
子ども食堂	4	5.6%	子ども食堂の設置・フードバンクシステムの構築
医療費助成の拡充	3	4.2%	マルフクを高校卒業まで延長
適切な情報提供	2	2.8%	支援制度の効果的な周知
その他	36	50.0%	
合計	72	100.0%	

【4 保護者や子どもの就労支援について】

分類	件数	割合	主な回答内容
仕事と育児の両立支援	9	19.1%	仕事と子育ての両立が出来る社会づくり・子育て中の母親の就労先を増やす
給与改善・福利厚生等充実	6	12.8%	就業時間のフレックス化・女性の給料の改善・有給休暇取得促進の啓発
支援体制の拡充	4	8.5%	障害者就労支援の充実
学童保育所等の充実	4	8.5%	長期休暇中に利用できる学童保育所
職場体験・就職セミナーの実施	2	4.3%	職場体験等で将来の夢を持てるような取組
その他	22	46.8%	
合計	47	100.0%	

【5 その他について】

分類	件数	割合	主な回答内容
子ども施策の充実	19	20.9%	保育園や学童の時間延長・長期休暇中に利用できる学童保育所
制度改善	12	13.2%	保育士の人材確保
医療費助成の拡充	8	8.8%	高校卒業まで医療費無償の延長・予防接種等の助成
放課後の活動	7	7.7%	部活動の在り方の見直し
適切な情報提供	6	6.6%	支援制度の効果的な周知
教育方針	6	6.6%	学力向上に向けた教育
子どもの居場所づくり	4	4.4%	放課後で教室を解放し自習等ができる場所・地域で子どもが集える場所
相談窓口の充実	4	4.4%	気兼ねなく相談できる場所
その他	25	27.5%	
合計	91	100.0%	